

農薬抄録

イミノクタジン酢酸塩

〔殺菌剤〕

(作成年月日) 1982年12月16日
(改定年月日) 1990年4月5日
(改定年月日) 1991年8月30日
(改定年月日) 1993年7月15日
(改定年月日) 1993年12月15日
(改定年月日) 1994年6月15日
(改定年月日) 1994年9月1日
(改定年月日) 1996年12月1日
(改定年月日) 1997年8月1日 (抜粋版)
(改定年月日) 1998年1月16日 (抜粋版)
(改定年月日) 1999年1月18日 (抜粋版)
(改定年月日) 2007年2月5日 (抜粋版)
(改定年月日) 2009年6月1日
(改定年月日) 2009年6月1日
(改定年月日) 2009年6月1日
(改定年月日) 2018年6月15日

(作成会社名) 日本曹達株式会社

(作成責任者・所属) 農業化学品事業部 登録部
部長

連絡先	(社名)	(担当部署)	担当者氏名 (TEL)
	日本曹達株式会社	登録部国内登録課	(FAX)

目次

I. 開発の経緯	経緯-1
II. 物理化学的性状	物化性-1
III. 生物活性	生物活性-1
IV. 適用及び使用上の注意	適用-1
V. 残留性及び水質汚濁性	
作物残留	残留-1
乳汁への移行性	残留-64
土壌残留	残留-64
後作物残留	残留-72
水質汚濁性	残留-73
VI. 有用動植物等に及ぼす影響	有用-1
VII. 使用時安全上の注意、解毒方法等	使用時-1
VIII. 毒性	
1. 原体	
急性毒性	毒 A-1
皮膚感作性	毒 A-15
急性神経毒性	毒 A-17
急性遅発性神経毒性	毒 A-18
90 日間反復経口投与毒性	毒 A-19
21 日間反復経皮投与毒性	毒 A-42
90 日間反復吸入毒性	毒 A-42
反復経口投与神経毒性	毒 A-43
28 日間反復投与遅発性神経毒性	毒 A-48
1 年間反復経口投与毒性及び発がん性	毒 A-49
繁殖毒性及び催奇形性	毒 A-99
変異原性	毒 A-141
生体機能影響	毒 A-157
その他	毒 A-163

2. 原体混在物及び代謝物	
原体中混在物	
変異原性	毒 B-1
代謝物	
急性毒性	毒 B-3
変異原性	毒 B-5
28 日間反復経口投与毒性	毒 B-13
3. 製剤	
25%液剤	
急性毒性	毒 C-1
皮膚及び眼に対する刺激性	毒 C-6
皮膚感作性	毒 C-12
3%塗布剤	
皮膚及び眼に対する刺激性	毒 C-14
15.7%フロアブル剤	
急性毒性	毒 C-19
皮膚及び眼に対する刺激性	毒 C-21
皮膚感作性	毒 C-24
7%水和剤	
急性毒性	毒 C-26
1.5%粉剤 DL	
急性毒性	毒 C-28
IX. 動植物及び土壌等における代謝分解	運命-1
[附] 開発年表	年表-1

I. 開発の経緯

1,1'-イミノオジ（オクタメチレン）ジグアニジニウム＝トリアセタート（一般名：イミノクタジン酢酸塩、旧名 グアザチン）は1964年英国のEvans Medical Ltd. が発明した殺菌剤で1970年に当時その系列下にあった Murphy Chemical Ltd. によって我が国に紹介された。その後本化合物の権利は1972年にスウェーデンの Keno Gard AB（1976年以前はCasco Gard AB と称し、1989年Rhône-Poulenc に吸収合併された）に譲渡された。しかし Keno Gard AB は本化合物の有効基はグアニジノ基であるとの考えからオクタメチレンジアミン、イミノジ（オクタメチレン）ジアミン、オクタメチレンビス（イミノオクタメチレン）ジアミンを主成分とするポリアミンを非選択的にグアニジノ化した多成分の混合物を一般名グアザチンとしてヨーロッパでの開発を先行し麦類の種子消毒剤、ジャガイモの塊茎消毒剤、柑橘、メロン類の貯蔵病害防除剤として商品化した。従って本抄録に記載するイミノクタジン酢酸塩とは異なるものである。

我が国では1971年より大日本インキ化学工業（株）が試験開発に着手した。当初大日本インキ化学工業（株）は Murphy Chemical Ltd. の原体あるいはその権利を継承した Keno Gard AB の原体の輸入販売を考えて開発を進めた。しかし Keno Gard AB から送られて来た原体を大日本インキ化学工業（株）の社内で評価したところ Murphy Chemical Ltd. の原体より著しく効果が劣ることがわかった。又 Keno Gard AB の多成分の混合物である原体を用いると残留試験に不都合なこともあり、Keno Gard AB に高純度品を要請したが、らちがあかなかつた。更に大日本インキ化学工業（株）は Keno Gard AB に高純度品の共同開発研究を申し入れたが、1976年 Keno Gard AB からは「経済的採算価格で高純度品を製造することは不可能である」との見解が示され、共同研究の提案は拒否された。

その後、大日本インキ化学工業（株）はKeno Gard AB との開発契約を解消し、独自に原体製造法の開発研究に取り組んだ。そして新たな分析方法を開発したことと、後工程に影響しない安価な触媒を発見したことにより中間体の精製が可能になり、本化合物の工業的な生産方法を確立することができた。特に1978

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

年に創設された「新農薬開発促進事業」の第1号の適用を受け、りんごの腐らん病防除剤として開発する為、慢性毒性、次世代に及ぼす影響、生体内運命及び土壌残留試験を実施した。従って我が国で試験した原体は Keno Gard AB のグアザチンとは異なり、一貫して高純度のものを用いた。

現在、国内において単剤では25%液剤、3%塗布剤が登録され、果樹（りんご・かんきつの生育期、なし・もも・ぶどうの休眠期）、麦類、アスパラガスなどに使用されている。

さらに、混合剤ではイミノクタジン酢酸塩・有機銅水和剤（りんご、みかん、なし、麦類）、イミノクタジン酢酸塩・銅水和剤（茶、きゅうり、かぼちゃ、キャベツ）、イミノクタジン酢酸塩・ポリオキシシン水和剤（果樹、野菜、花きなど）、イミノクタジン酢酸塩・チオファネートメチル水和（フロアブル）剤（小麦、みかん、かんきつ（みかんを除く））などが登録されている。

また、海外では台湾、韓国で以下の登録を取得しているが、米国・EUでの登録はない。

<u>国名</u>	<u>商品名</u>	<u>作物</u>	<u>適用病害</u>	<u>希釈倍数</u>
台湾	倍福農	水稲	葉イモチ病	500倍
			穂イモチ病	500倍
		ぶどう	銹病	800倍
			びわ	灰斑病
韓国	BEFRAN	ぶどう	炭疽病	250倍
			りんご	斑点落葉病
		すいか	輪紋病	1000倍
			つる枯病	1000倍

II. 物理的・化学的性状

1. 有効成分の名称および化学構造

1) 一般名

イミノクタジン酢酸塩 (ISO名：旧名称 グアザチン)

iminooctadine triacetate (ISO名：旧名称 guazatine triacetate)

1989年10月16日に名称変更

2) 別名

商品名：ベフラン

試験名：DF-125

3) 化学名

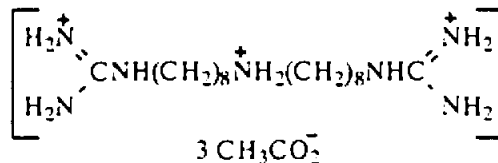
1,1'-イミノジ(オクタメチレン)ジグアニジニウム=トリアセタート(MAFF名)

1,1'-iminiodi(octamethylene)diguandinium triacetate(MAFF name)

1,1'-イミノジ(オクタメチレン)ジグアニジン=トリアセタート (IUPAC名)

1,1'-iminodi(octamethylene)diguandine triacetate (IUPAC name)

4) 構造式



5) 分子式

$\text{C}_{24}\text{H}_{53}\text{N}_7\text{O}_6$

6) 分子量

535.7

7) CAS登録番号

57520-17-9

2. 有効成分の物理化学的性状

- 1) 色調： 白
JIS Z 8102 準拠 JIS 色名帳(1993)との目視比較
(株)三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 2) 形状： 固体(粉末)
目視観察(常温常圧)
(株)三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 3) 臭気： 酢酸臭
官能法(常温常圧)
(株)三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 4) 密度： 1.11 g/cm³ (22°C)
OECD テストガイドライン 109 比重瓶法
(株)三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 5) 融点： 140.3°C(410.9K)~145.6°C
OECD テストガイドライン 102 液浴中毛細管法
(株)三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 6) 沸点： 求められず(190°Cで 分解)
OECD テストガイドライン 103 Siiwoloboff 法
(株)三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 7) 蒸気圧： 3.98×10⁻⁴Pa 以下(測定温度 23°C)
[2.65×10⁻⁴Pa 以下]
OECD テストガイドライン 104 気体流動法
(財)化学品検査協会 化学品安全センター 1987年
- 8) 溶解度： 水 550 g/L (20.0°C)[366.7 g/L]
OECDテストガイドライン 105 フラスコ法
(株)三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- | | |
|---------|---|
| n-ヘキサン | < 5×10 ⁻⁴ g/L [$< 3 \times 10^{-4}$ g/L *] (20.0°C) |
| キシレン | < 5×10 ⁻⁴ g/L [$< 3 \times 10^{-4}$ g/L *] (20.0°C) |
| ジクロロメタン | < 5×10 ⁻⁴ g/L [$< 3 \times 10^{-4}$ g/L *] (20.0°C) |
| アセトン | < 5×10 ⁻⁴ g/L [$< 3 \times 10^{-4}$ g/L *] (20.0°C) |
| メタノール | 356 g/L[237 g/L *] (20.0°C) |
| エタノール | 66 g/L[44 g/L *] (20.0°C) |
| 酢酸エチル | < 5×10 ⁻⁴ g/L [$< 3 \times 10^{-4}$ g/L *] (20.0°C) |
- OECDテストガイドライン 105 フラスコ法
(株)三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP (メタノールのみ非GLP)
*：親化合物を直接分析することが困難であるため、測定対象はイミノクタジンとした。親化合物と数値が異なるものは[]内にイミノクタジン換算値を記載した。

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

- 9) 解離定数：強電解質のため求められず
OECD テストガイドライン 112 滴定法及び電気伝導度法
(株)三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 10) オクタノール/水分配係数(log Pow)：-2 未満(正確な log Pow は求められない)(20°C)
OECD テストガイドライン 107 フラスコ振とう法
(株)三菱化学安全科学研究所 1999年 GLP
- 11) 生物濃縮性：log Pow が 3.5 以下のため試験未実施
- 12) 土壌吸着係数：土壌吸着性が強いいため求められず(25°C)
OECD テストガイドライン 106
(株)化学分析コンサルタント 1999年
- 13) 加水分解性：pH 5.0、7.0 および 9.0 の緩衝液中で安定
半減期 pH 5.0 約 420 日、pH7.0 約 390 日 pH9 約 370 日
試験温度 25°C
試験濃度 約 5 mg/L
加水分解試験、OECD テストガイドライン 111
(株)化学分析コンサルタント 1994年
- 14) 水中光分解性：滅菌蒸留水 t_{1/2} 約 19 日(25°C、23.5W/m²、310~400nm)
滅菌自然水 t_{1/2} 約 3 日(25°C、23.5W/m²、310~400nm)
(株)化学分析コンサルタント 1993年
- 15) 安定性：234°Cまで安定
(N₂雰囲気下、熱重量分析(TGA)・示差熱分析(DTA)法)
OECDテストガイドラン 113
大日本インキ化学工業(株)研究所分析センター 1999年

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

16) スペクトル：OECD テストガイドライン 101(①)

大日本インキ化学工業(株) 1998～1999 年

① 紫外可視(UV-VIS)吸収スペクトル

	最大波長(nm)	モル吸光度係数(ε)	バンド幅(nm)
中性	193.1	1.861×10^4	測定不可
酸性	206.1	1.931×10^3	5.6
アルカリ性	209.5	1.136×10^3	8.2

② 赤外(IR)吸収スペクトル

主な吸収波長(cm^{-1})	官能基	振動の型
1476	酢酸塩 $-\text{CO}_2^-$	対称伸縮振動
1476	酢酸塩 $-\text{CO}_2^-$	逆対称伸縮振動
1640	NH_2	面内変角振動
1685	グアニジノ基由来	伸縮振動
2859	脂肪族 $\text{NH}^+, \text{NH}_2^+$	伸縮振動
3033	脂肪族 CH	伸縮振動
2934	脂肪族 CH	伸縮振動
3305	脂肪族 NH, NH_2	伸縮振動

③ 質量(MS)スペクトル

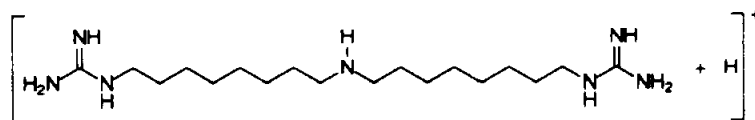
質量分析計 (MS)

イオン化法：FAB 法 (マトリクス：3-ニトロベンジルアルコール)

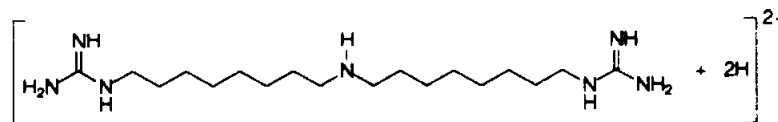
測定イオン種：正、負

FAB 正イオン測定

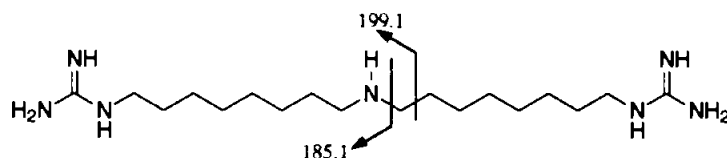
m/z 356.4



m/z 178.6



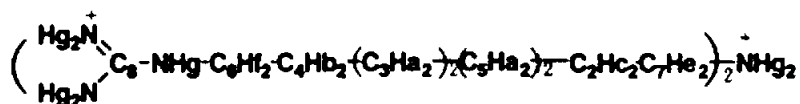
m/z 185.1, m/z 199.1



FAB 陰イオン測定 m/z212.1, m/z365.3

各ピークは酢酸アニオンと1つまたは2つの3-ニトロベンジルアルコールからなるクラスターイオンに相当する。

- ④ 核磁気共鳴スペクトル (^1H NMRスペクトル、 ^{13}C NMRスペクトル)
 質量分析計 (MS)
 イオン化法: FAB法 (マトリクス: 3-ニトロベンジルアルコール)
 測定イオン種: 正、負



^1H NMRスペクトルの帰属

水素 No.	ケミカルシフト (ppm)	ピーク開裂の様式*	水素数
Ha	1.37	Bs	8
Hb	1.58	Bt	4
Hc	1.67	Bt	4
Hd	1.89	S	9
He	2.93	T	4
Hf	3.15	T	4
Hg	4.94	Bs	5

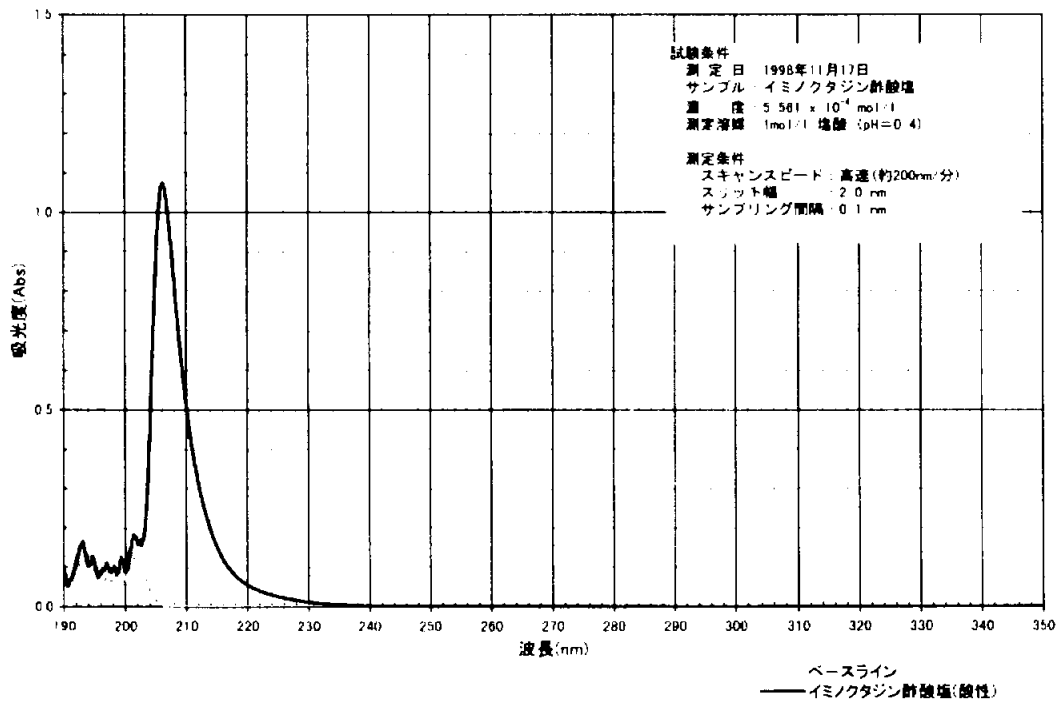
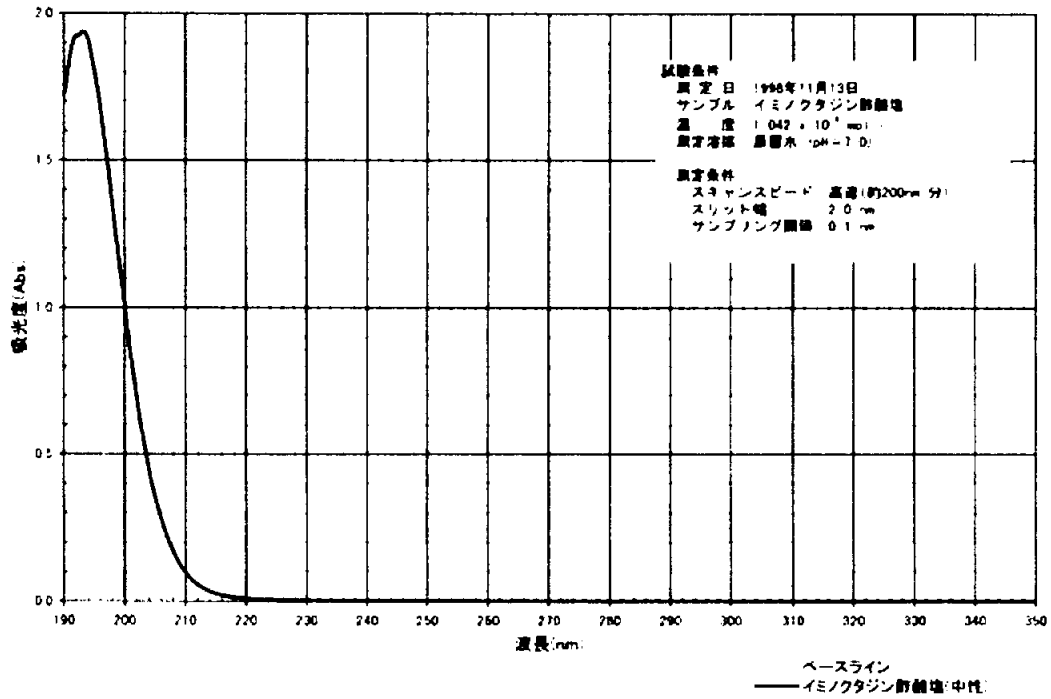
*s シングレット bs フォートシングレット bt フォートトリプレット

^{13}C NMRスペクトルの帰属

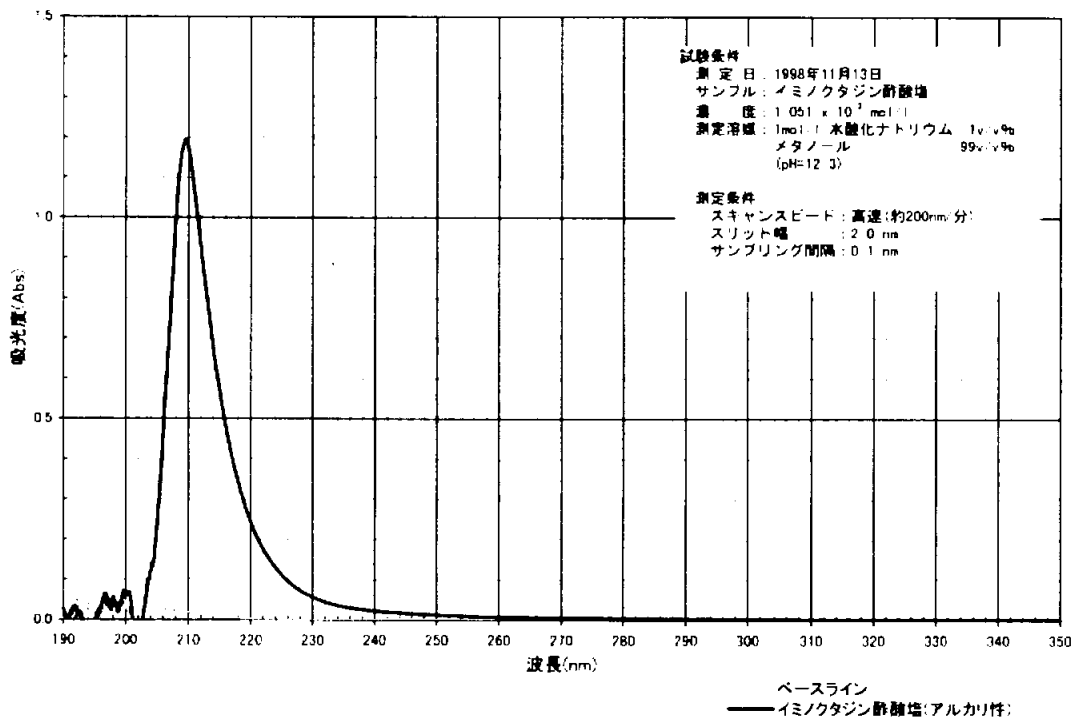
炭素 No.	ケミカルシフト(ppm)
C ₁	24.3
C ₂	27.4
C ₃	27.6
C ₄	29.8
C ₅	30.1
C ₆	42.4
C ₇	48.9
C ₈	158.8
C ₉	180.4

紫外可視 (UV-VIS) 吸収スペクトル

装置：(株)島津製作所 UV-1600PC

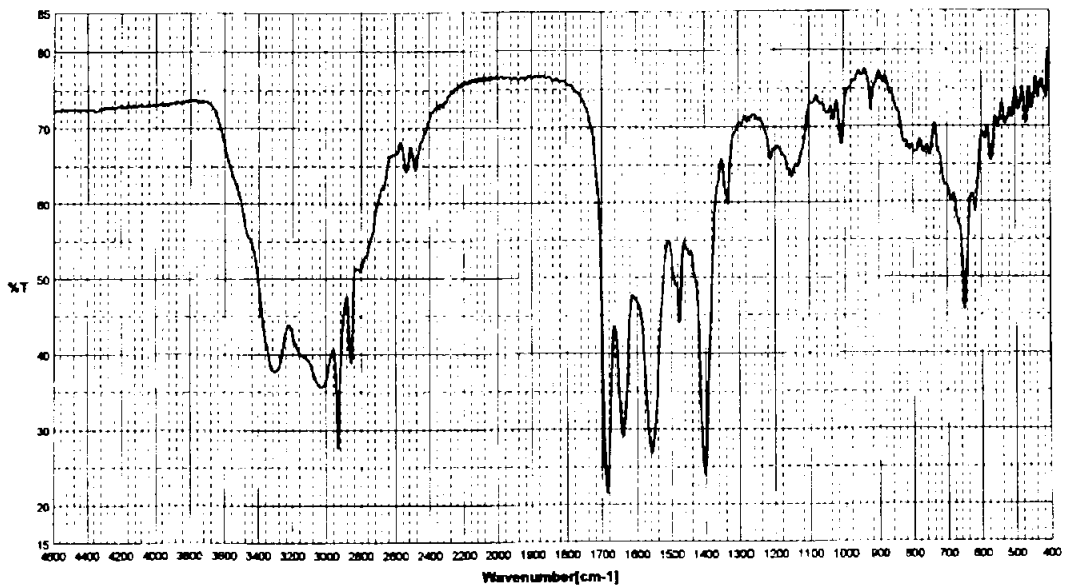


本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある



赤外 (IR) 吸収スペクトル (KBr法)

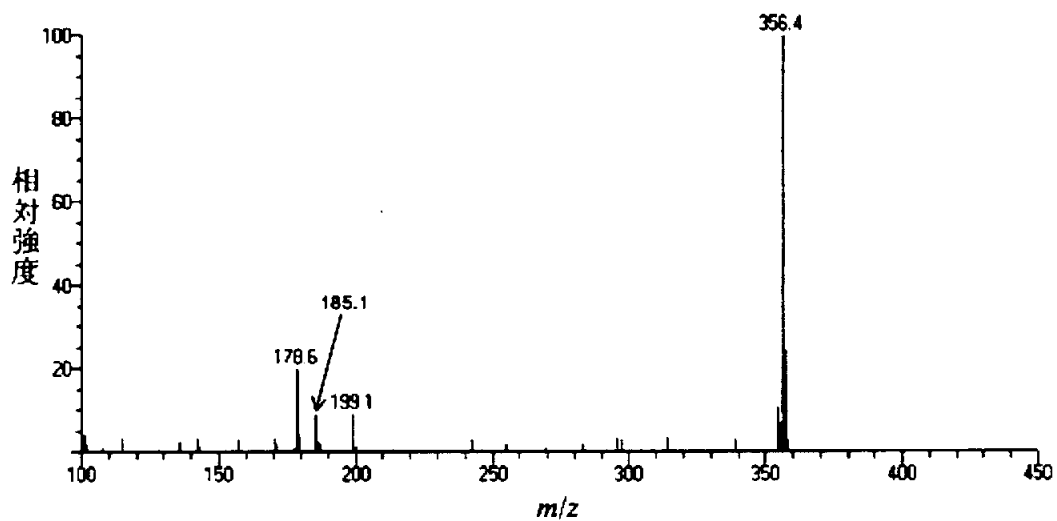
装置：フーリエ変換赤外分光光度計 (FT/IR 550、日本分光(株))



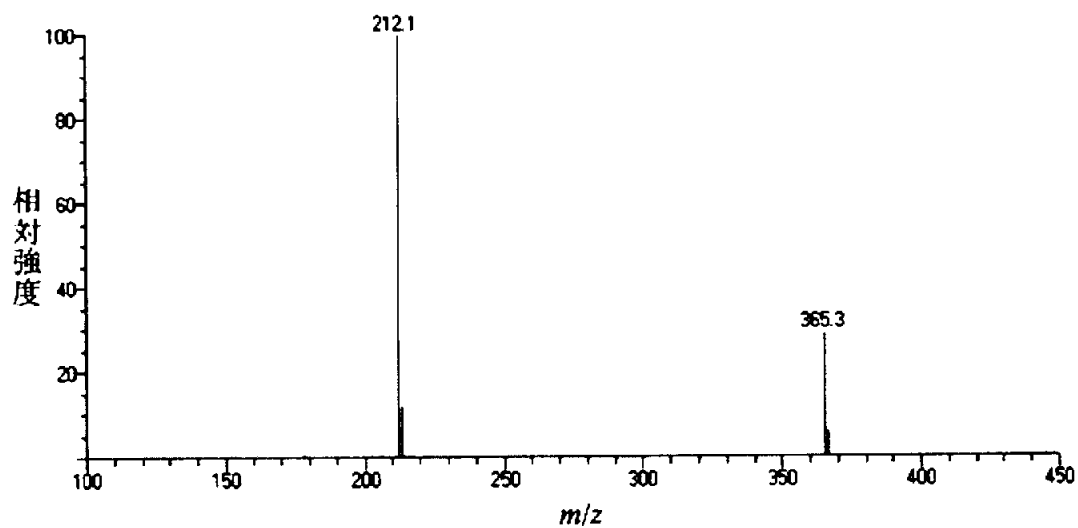
質量 (MS) スペクトル

装置：質量分析計 JMS-LX2000、日本電子(株)

イオン化法：FAB 法、測定イオン種：正、負



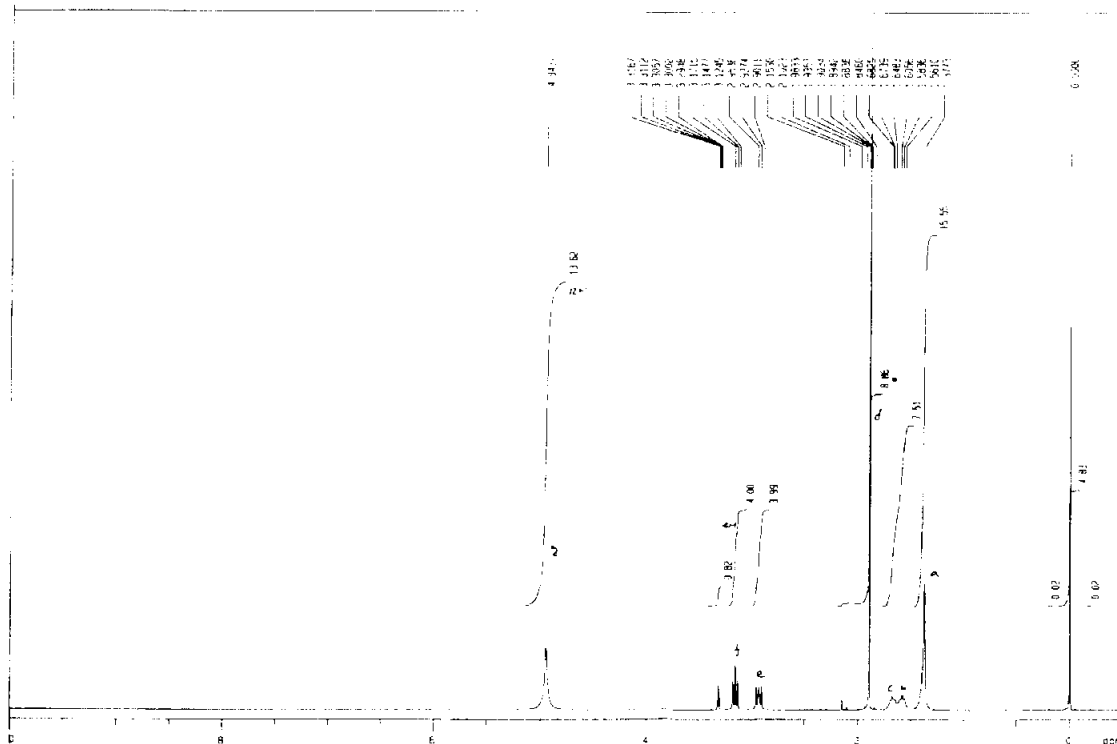
正イオンスペクトル



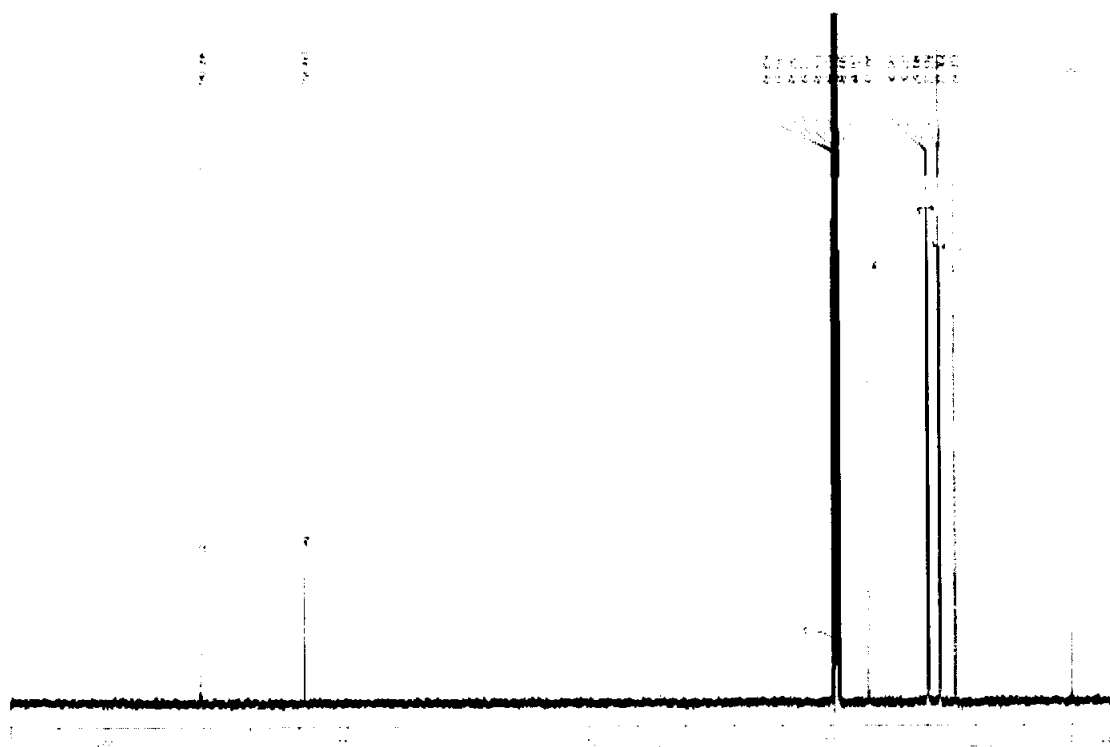
負イオンスペクトル

核磁気共鳴 (NMR) スペクトル

装置 : Lambda 300、日本電子(株)



$^1\text{H-NMR}$ (CDCl_3) スペクトル



$^{13}\text{C-NMR}$ スペクトル

3. 原体の成分組成

区分	名称		構造式	分子式	分子量	含有量(%)	
	一般名	化学名				規格値	通常値 又はレンジ
有効成分	イミノクタジン酢酸塩	1,1'-イミノジ(オクタメチレン)ジグアニジニウム=トリアセテート		$C_{24}H_{53}N_7O_6$	535.7		
原体混在物	混在物①						
	混在物②						
	混在物③						
	混在物④						
	混在物⑤						
	混在物⑥						
	混在物⑦						
	混在物⑧						

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

原体混在物	混在物⑨						
	混在物⑩						
	混在物⑪						
	混在物⑫						

4. 製剤の組成

1) 25%液剤		
イミノクタジン酢酸塩		25.0 %
界面活性剤、水 等		75.0 %
2) 3%塗布剤		
イミノクタジン酢酸塩		3.0 %
水溶性樹脂、色素、有機溶剤、水 等		97.0 %
3) 15.7%フロアブル		
イミノクタジン酢酸塩		15.7 %
チオファネートメチル		26.2 %
界面活性剤、水 等		58.1 %
4) 7%水和剤		
イミノクタジン酢酸塩		7.0 %
有機銅		50.0 %
鉍物質微粉、界面活性剤等		43.0 %
5) 1.5%粉剤		
イミノクタジン酢酸塩		1.5 %
フサライド		2.0 %
鉍物質微粉、凝集剤等		96.5 %

Ⅲ. 生物活性

1. 活性の範囲

イミノクタジン酢酸塩は下記の広範囲の病害に対し、優れた抗菌スペクトルを示す。

- リンゴ … 腐ラン病、モニリア病、斑点落葉病、黒星病
- ブドウ … 晩腐病、黒とう病、苦腐病、褐斑病
- カンキツ … 青かび病、緑かび病、白かび病、黒腐病、軸腐病
- ナシ … 黒斑病、枝枯病
- モモ … 灰星病
- クリ … 胴枯病
- チャ … 輪斑病
- イネ … いもち病、ごま葉枯病
- ムギ … 紅色雪腐病、赤かび病、斑点病、条斑病
- トマト … 疫病
- イチゴ … 灰色かび病
- アスパラガス … 茎枯病、斑点病

2. 作用機構

ラジオアイソトープを用いて、イミノクタジン酢酸塩の作用機構を *Alternaria kikushiana* (ナシ黒斑病菌) を供試して調べた結果、イミノクタジン酢酸塩は脂質合成系に第一次作用点を有し、DNA、RNA、タンパク質、細胞壁の各生合成系及び呼吸系に対してほとんど阻害を示さない。

3. 作用特性と防除上の利点

イミノクタジン酢酸塩は予防効果に優れ発病初期の治療効果も高い接触型の殺菌剤であり胞子の発芽、付着器形成、進入菌糸の伸長を抑制する作用を有する。特に進入菌糸の伸長抑制効果が著しい。イミノクタジン酢酸塩はベノミル、チオファネートメチル及びポリオキシシンと作用点が異なり、交差耐性を示さないため、これらの薬剤耐性菌にも高い効果が得られる。

IV. 適用及び使用上の注意

1. 適用病害虫の範囲及び使用方法

1) イミノクタジン酢酸塩 25%液剤(ベフラン液剤 25)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
麦類 (小麦を 除く) <申請中>*	雪腐大粒菌核病 紅色雪腐病	1000 倍	60～ 150L/10a	根雪前	2 回以内	散布	3 回以内 (種子への 処理は 1 回以内、 散布は 2 回以内)
	紅色雪腐病	10 倍	乾燥種子 1kg 当り 30～50mL	は種前	1 回	塗沫処理	
		5 倍	乾燥種子 1kg 当り 15～25mL				
	紅色雪腐病 条斑病 斑葉病 網斑病 ふ枯病 なまぐさ黒穂病	原液	乾燥種子 1kg 当り 3～5mL			種子吹き付 け処理又は 塗沫処理	
	斑葉病	250～ 500 倍	-			10～30 分間 種子浸漬	
	なまぐさ黒穂病	1000～ 2000 倍	-				
小麦 <申請中>*	紅色雪腐病	250 倍	25L/10a	根雪前	3 回以内 (但し、 出穂期以降は 1 回以内)	散布	4 回以内 (種子への 処理は 1 回以内、 散布及び 無人へ散布は 合計 3 回以内、 出穂期以降は 1 回以内)
	雪腐大粒菌核病 紅色雪腐病	1000 倍	60～ 150L/10a	収穫 14 日 前まで			
	うどんこ病 葉枯症						
	赤かび病	1000～ 2000 倍					
	紅色雪腐病	10 倍		乾燥種子 1kg 当り 30～50mL	は種前	1 回	
		5 倍	乾燥種子 1kg 当り 15～25mL				
紅色雪腐病 条斑病 ふ枯病 なまぐさ黒穂病	原液	乾燥種子 1kg 当り 3～5mL	種子吹き付 け処理又は 塗沫処理				
なまぐさ黒穂病	1000～ 2000 倍	-	10～30 分間 種子浸漬				

* 2018 年 3 月 29 日 申請(基準値設定を伴わない)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

1) イミノクタジン酢酸塩 25%液剤(ペフラン液剤 25)(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数			
りんご	モリア病 腐らん病 黒星病	1000 倍	200～ 700L/10a	展葉期	6 回以内 (但し、開花期 以降散布は 3 回以内)	散布	8 回以内 (液剤及び 水和剤は 合計 6 回以内 (開花期以降は 3 回以内)、 塗布剤は 2 回以内)			
	腐らん病	500～ 1000 倍		休眠期						
	斑点落葉病 褐斑病 輪紋病 すす点病 すす斑病	1500～ 2000 倍		収穫前日 まで						
	黒星病	1500 倍								
	紫紋羽病	250 倍		-				苗木植付前	-	根部浸漬
ぶどう	晩腐病	250～ 500 倍	200～ 700L/10a	休眠期	1 回	散布	3 回以内 (休眠期は 1 回以内、 生育期は 2 回以内)			
	褐斑病 黒とう病 つる割病	250 倍								
	黒とう病 枝膨病	1000 倍		収穫 60 日 前まで	2 回以内					
なし	黒斑病	250 倍			休眠期			1 回	5 回以内 (塗布剤は 2 回以内、 液剤は 1 回以内)	
	黒星病	1000 倍			収穫後～ 休眠期					
もも	縮葉病	250～ 500 倍			休眠期			3 回以内 (休眠期は 1 回以内)		
みかん	貯蔵病害(青かび病)	2000～			収穫前日 まで			3 回以内	2 回以内	3 回以内
	貯蔵病害(緑かび病)	3000 倍								
かんきつ (みかん、 ゆずを 除く)	貯蔵病害(白かび病)	2000 倍								
	貯蔵病害(すす斑病)	2000 倍								
ゆず	貯蔵病害(青かび病)	2000～								
	貯蔵病害(緑かび病)	3000 倍								
	貯蔵病害(黒腐病)	2000 倍								
	貯蔵病害(白かび病)									
	貯蔵病害(すす斑病)									
	幹腐病									

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

1) イミノクタジン酢酸塩 25%液剤(ペフラン液剤 25)(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数
マルメロ かりん	腐らん病	1500倍	200～ 700L/10a	展葉期	4回以内 (但し、開花期 以降散布は 3回以内)	散布	4回以内 (開花期以降は 3回以内)
アスパラガス	茎枯病	1000倍	100～ 300L/10a	収穫終了後 (冬期まで)	5回以内		5回以内
りんどう	花腐菌核病 葉枯病	1500倍	100～ 700L/10a	-	8回以内		8回以内

2) イミノクタジン酢酸塩 3%塗布剤([DIC]ペフラン塗布剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数
りんご	腐らん病 銀葉病	原液	せん定時及び 病患部削り取り直後	2回以内	塗布	8回以内 (液剤及び水和剤は 合計6回以内 (開花期以降は 3回以内)、 塗布剤は2回以内)
なし	胴枯病	3倍				5回以内 (塗布剤は2回以内、 液剤は1回以内)
くり	胴枯病 傷口のゆ合促進	原液				2回以内

作物名	使用目的	適用害獣名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数
りんご	忌避	野ウサギ 野ソ	原液	根雪前	2回以内	塗布	8回以内 (液剤及び水和剤は 合計6回以内 (開花期以降は3回以内)、 塗布剤は2回以内)
さくら		ウ	15倍	-	-	散布	-

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

3) イミノクタジン酢酸塩 15.7%フロアブル(ペフトップジンフロアブル)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数	チオファネートメチルを 含む農薬の 総使用回数
麦類 (小麦を 除く) <申請中>*	赤かび病	1000 倍	60～ 180L/10a	収穫 14 日 前まで	2 回以内 (出穂期は 1 回以内)	散布	3 回以内 (種子への 処理は 1 回以内、 散布は 2 回以内)	3 回以内 (種子への 処理は 1 回以内、 出穂期以降は 1 回以内)
		800～ 1000 倍						
小麦	うどんこ病	800～ 1000 倍	60～ 180L/10a	根雪前	3 回以内 (出穂期 以降は 1 回以内)	散布	4 回以内 (種子への 処理は 1 回以内、 散布及び 無人ヘリ散布は 合計 3 回以内、 出穂期以降は 1 回以内)	4 回以内 (種子への 処理は 1 回以内、 散布及び 無人ヘリ散布は 合計 3 回以内、 出穂期以降は 2 回以内)
	紅色雪腐病	750～ 1000 倍						
	雪腐大粒菌核病	750 倍						
	赤かび病	8 倍						
みかん	貯蔵病害(青かび病) 貯蔵病害(緑かび病) 貯蔵病害(軸腐病) 貯蔵病害(こうじかび病) 貯蔵病害(黒腐病)	1500 倍	200～ 700L/10a	収穫 7 日 前まで	3 回以内	散布	3 回以内	8 回以内 (塗布は 3 回以内、 散布、空中散布 及び無人ヘリ 散布は 合計 5 回以内)
かんきつ (みかんを 除く)	貯蔵病害(炭疽病) 貯蔵病害(白かび病) 貯蔵病害(すす斑病)			収穫前日 まで				2 回以内

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

4) イミノクタジン酢酸塩 7%水和剤 (日曹ベフキノン水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数	有機銅を 含む農薬の 総使用回数					
りんご	斑点落葉病	750～ 1000倍	200～ 700L/10a	収穫14日 前まで	3回以内	散布	8回以内 (液剤及び 水和剤は 合計6回以内 (開花期以降は 3回以内)、 塗布剤は 2回以内)	7回以内 (塗布は 3回以内、 散布は 4回以内)					
	輪紋病 すす点病 すす斑病 褐斑病 炭疽病	1000倍							収穫30日 前まで	2回以内	3回以内	5回以内 (塗布剤は 2回以内、 液剤は1回以内)	12回以内 (塗布は 3回以内、 散布は 9回以内)
かんきつ (みかんを 除く)	灰色かび病 黒点病			3回以内	3回以内		3回以内	5回以内					
みかん	灰色かび病 そうか病 黒点病												
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病	300倍		100～ 200L/10a	根雪前		2回以内	4回以内(種子へ の処理は1回以 内、散布及び無 人へ散布は合計 3回以内、出穂期 以降は1回以内)	5回以内(種子へ の処理は1回以 内)				
麦類 (小麦を 除く)	雪腐小粒菌核病 紅色雪腐病		小麦			3回以内				2回以内	3回以内	3回以内	

5) イミノクタジン酢酸塩 1.5%粉剤(MIC ラブサイドベフラン粉剤 DL)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数	フザリウムを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 穂枯れ(すじ葉枯病菌) 稲こうじ病 変色米(カーブリア菌) 変色米(アルタナ菌) 変色米(エビコッカム菌)	3～ 4kg/10a	穂ばらみ期 ～穂揃期 但し、収穫 14日前まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内

6) イミノクタジン酢酸塩 5%水和剤 (ポリベリン水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数	ポリベリンを 含む農薬の 総使用回数	
りんご	斑点落葉病 すす点病 すす斑病	1500～ 2000倍	200～ 700L/10a	収穫21日 前まで	3回以内	散布	8回以内 (液剤及び 水和剤は 合計6回以内 (開花期以降は 3回以内)、 塗布剤は 2回以内)	5回以内 (散布は 3回以内)	
	うどんこ病 黒星病 褐斑病	1500倍							
みかん	灰色かび病	750～ 1500倍		開花期～ 幼果期	2回以内		2回以内	3回以内	5回以内
	そうか病	1000倍							
かんきつ (みかんを 除く)	灰色かび病	750～ 1500倍		収穫21日 前まで	2回以内		2回以内	2回以内	2回以内
	そうか病	1000倍							
なし	黒斑病	1500～ 2000倍		収穫14日 前まで	3回以内		3回以内	5回以内 (塗布剤は 2回以内、 液剤は 1回以内)	5回以内 (イミノクタジン酢酸 塩・ポリベリン水和 剤は 3回以内)
	うどんこ病 輪紋病 黒星病	1500倍							
	うどんこ病	1000～ 2000倍							
ぶどう	灰色かび病	750～ 1500倍		収穫60日 前まで	2回以内		2回以内	3回以内 (休眠期は 1回以内、 生育期は 2回以内)	5回以内
	黒とう病 晩腐病 褐斑病	1000倍							
	うどんこ病	1000～ 2000倍							
うめ	灰色かび病 すす斑病 黒星病	1000倍	収穫30日 前まで	3回以内	3回以内	3回以内	3回以内		
かき	うどんこ病 灰色かび病 炭疽病	1000～ 2000倍							
きゅうり	うどんこ病	2000倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	2回以内	7回以内	2回以内		
	灰色かび病 褐斑病 ハダニ類 アザミヤカ類	1000倍							

6) イミノクタジン酢酸塩 5%水和剤 (ポリベリン水和剤)(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数	ポリベリンを 含む農薬の 総使用回数
すいか	うどんこ病	1000～ 2000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	4 回以内	散布	4 回以内	5 回以内
	つる枯病 炭疽病 ハダニ類	1000 倍						
メロン	うどんこ病	1500～ 2000 倍		5 回以内	5 回以内		5 回以内	5 回以内 (塗布は 1 回以内)
	つる枯病 ハダニ類 アザミヤカ類	1500 倍						
かぼちゃ	うどんこ病	1000～ 2000 倍		収穫 7 日 前まで	3 回以内		4 回以内	3 回以内
なす	灰色かび病 ハダニ類 アザミヤカ類	1000 倍		収穫前日 まで				
ねぎ	黒斑病 小菌核腐敗病 黄斑病 葉枯病	1500 倍		収穫 14 日 前まで				
たまねぎ	灰色腐敗病	750～ 1000 倍		収穫 3 日 前まで	5 回以内		5 回以内	5 回以内
にんにく	葉枯病 黄斑病	1000～ 1500 倍		3 回以内				
にんじん	黒葉枯病 斑点病	1500～ 2000 倍		収穫 14 日 前まで	5 回以内		5 回以内 (種子粉衣は 1 回以内、 無人へ散布は 2 回以内)	5 回以内
花き類・ 観葉植物 (ストック、スターチス、 チュリップ、 ばら、ククマを 除く)	灰色かび病	1000 倍	発病初期	8 回以内	8 回以内	8 回以内	8 回以内	
ストック	菌核病 灰色かび病							
スターチス	うどんこ病 灰色かび病							
チュリップ	褐色斑点病 灰色かび病							

6) イミノクタジン酢酸塩 5%水和剤 (ポリベリン水和剤)(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数	ポリベリンを 含む農薬の 総使用回数	
クルマ	灰色かび病 さび斑病	1000 倍	100～ 300L/10a	発病初期	8 回以内	散布	8 回以内	8 回以内	
ばら	灰色かび病 うどんこ病	1000～ 2000 倍							
樹木類 (かし、 まさき、 さるすべり を除く)	うどんこ病 灰色かび病	1000 倍	200～ 700L/10a		3 回以内		3 回以内	3 回以内	
かし	灰色かび病 うどんこ病 紫かび病								
まさき	うどんこ病	1000～ 2000 倍	5 回以内				5 回以内	5 回以内	5 回以内
	灰色かび病	1000 倍							
さるすべり	うどんこ病	1000～ 2000 倍							
	灰色かび病	1000 倍							

7) イミノクタジン酢酸塩 2.5%水和剤 (日曹ベフドー水和剤)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数	銅を含む 農薬の 総使用回数
茶	炭疽病 赤焼病 もち病 網もち病	500～ 700 倍	200～ 400L/10a	摘採 14 日 前まで	2 回以内	散布	2 回以内	—
	新梢枯死症 (輪斑病菌に よる) 褐色円星病 灰色かび病 黒葉腐病	500 倍						

7) イミノクタジン酢酸塩 2.5%水和剤 (日曹ベフドー水和剤)(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数	銅を含む 農薬の 総使用回数
きゅうり	灰色かび病 炭疽病 斑点細菌病 べと病 うどんこ病 黒星病 褐斑病	500 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	7 回以内	散布	7 回以内	—
	菌核病	1000 倍						
かぼちゃ	うどんこ病 白斑病 疫病	500 倍		収穫 7 日前 まで	4 回以内		4 回以内	
キャベツ	黒腐病 べと病		収穫 14 日 前まで	3 回以内	3 回以内			

2. 使用上の注意事項

- 1) イミノクタジン酢酸塩 25%液剤(ベフラン液剤 25)
 - (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
 - (2) 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用すること。
 - (3) ボルドー液とは沈殿を生じるので混用しないこと。
 - (4) 麦類の種子消毒の場合、吹き付け処理は、専用の種子消毒機を使用し、薬液が種子に均一に付着するようにすること。また、塗沫処理の場合は適当な容器内で種子をかき混ぜながら薬液を滴下するなどして、種子に均一に薬液を付着させること。
 - (5) 本剤を小麦に対して希釈倍数 250 倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を用いて均一に散布すること。
 - (6) りんごに使用する場合以下のことに注意する。
 - ① 芽出し 2 週間すぎから落花後 40 日頃までは、さび果、花そうでの軽微な不整葉を生じることがあるので、この時期の散布はさけること。
 - ② モニリア病防除に使用する場合、この時期の西洋なしには薬害を生じるおそれがあるので、近接している場合にはかからないように注意すること。
 - ③ 紫紋羽病防除に使用する場合、苗木発芽後の処理では展葉を阻害する傾向があるので発芽後の処理はさけること。また、苗木根部に付着した土壌をできるだけ除去したのちに処理すること。
 - (7) アスパラガスに使用する場合次のことに留意すること。
 - ① 若茎に薬液が付着すると茎が曲がることがあるので留意すること。
なお、このことによる株養成への影響はみられていない。
 - ② 夏期高温時の散布では針葉(擬葉)が白化することがあるので使用濃度を守り、朝夕に散布すること。
 - (8) 日本なし、もも、うめ等の果樹、いね、きゅうり、あぶらな科作物、まめ類には、葉に薬害を生じることがあるのでかからないように注意して散布すること。
 - (9) かんきつの施設栽培で果実の着色終了前に使用する場合、果実に着色むらを生じるおそれがあるので、降雨時等の極端な多湿条件下での散布はさけること。
 - (10) ぶどう晩腐病(休眠期散布)の防除の際、500 倍では効果が劣ることがあるので、多発が予想される場合には 250 倍で使用する。また、ハウス栽培(特に加温ハウス栽培)では、果実に薬斑を生じるおそれがあるので散布はさけること。
 - (11) 蚕に対して毒性があるので桑にはかからないように注意して散布すること。
 - (12) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、農業改良普及センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
 - (13) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、農業改良普及センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

- 2) イミノクタジン酢酸塩 3%塗布剤([DIC]ベフラン塗布剤 3)
 - (1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
 - (2) 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用すること。
 - (3) 使用直前によくかきまぜ、原液をそのままハケ等で塗布すること。
 - (4) 治療に使用する場合、病斑を見つけ次第病患部を大きめに削り取り、その傷あと及びその周辺に十分塗布すること。
 - (5) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
 - (6) りんごの環状はく皮部に塗布すると樹勢を弱めることがあるので、環状はく皮部には使用しないこと。
 - (7) なしに対し原液塗布は葉害を生じるおそれがあるので、所定濃度で使用すること。
 - (8) ウソによるさくらの被害がみえたら、できるだけ早く十分量散布すること。
 - (9) 使用後のハケはそのまま放置せず水でよく洗うこと。

- 3) イミノクタジン酢酸塩 15.7%フロアブル(ベフトップジンフロアブル)
 - (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
 - (2) 使用に際しては、容器をよく振ること。
 - (3) 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用すること。
 - (4) ボルドー液とは沈殿を生じるので混用しないこと。塩化銅等の無機銅剤との混用はさけること。
 - (5) 日本なし、もも、うめ等の果樹、稲、きゅうり、あぶらな科作物、まめ類には、葉に葉害を生じることがあるのでかからないように注意して散布すること。
 - (6) かんきつの施設栽培で果実の着色終了前に使用する場合、果実に着色むらを生じるおそれがあるので、降雨時等の極端な多湿条件下での散布はさけること。
 - (7) 蚕に対して毒性があるので桑にはかからないように注意して散布すること。
 - (8) 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意事項を守ること。
 - ① 散布は散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 - ② 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ③ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - (9) 本剤を希釈倍数 250 倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を用いて均一に散布すること。
 - (10) 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

- 4) イミノクタジン酢酸塩 7%水和剤 (日曹ベフキノン水和剤)
- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
 - (2) 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用すること。
 - (3) ボルドー液、石灰硫黄合剤、水和硫黄剤との混用はさけること。
 - (4) りんごに使用する場合は、落花後 40 日頃までは、さび果を生じることがあるのでこの時期の散布はさけること。また、樹勢の弱い場合に連続散布すると、生理落葉を助長することがあるので連用はさけること。特にゴールデン及びゴールデンからの育成品種には注意すること。
 - (5) なしに使用する場合は、展葉期の散布は薬害を生じるおそれがあるので、5 月下旬までの散布はさけること。
 - (6) 大豆、小豆、えんどうには、薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
 - (7) 蚕に対して毒性があるので、桑にはかからないように注意して散布すること。
 - (8) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。
なお病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 5) イミノクタジン酢酸塩 1.5%粉剤(MIC ラブサイドベフラン粉剤 DL)
- (1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
 - (2) 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用すること。
 - (3) 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ、見かけ比重がやや大きく流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を 1 目盛程度しぼって散布すること。
 - (4) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。

- 6) イミノクタジン酢酸塩 5%水和剤 (ポリベリン水和剤)
- 1) 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用すること。
 - 2) 本剤をきゅうりに使用する場合、高温時に誤って高濃度で散布すると薬害を生じるおそれがあるので、所定濃度を厳守すること。
 - 3) なしに使用する場合、次の事項に注意すること。
 - ① 5月中の散布は新展開葉に波打ち、あるいは軽い薬斑を生じることがあるので、所定範囲の低濃度で散布すること。
 - ② 「多摩」に対しては薬害を生じるおそれがあるので、散布をさけること。
 - 4) 本剤をうめに使用する場合、誤って高濃度で散布すると薬害を生じるおそれがあるので、所定濃度を厳守すること。
 - 5) かきに使用する場合、西村早生では葉に薬斑を生じるので使用しないこと。
 - 6) 花き類に使用する場合、品種、栽培条件、散布濃度によって、花卉に退色、褐変等の薬害を生じる場合があるので、予め安全を確認の上使用すること。
 - 7) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
 - 8) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 7) イミノクタジン酢酸塩 2.5%水和剤 (日曹ベフドー水和剤)
- (1) 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用すること。
 - (2) 石灰硫黄合剤、マシン油乳剤などとの混用はさけること。
 - (3) きゅうりに使用する場合には次の事項に注意すること。
 - ① 薬害を生じやすいので幼苗期散布はさけて中期以降に散布すること。尚、高温時の散布は症状が激しくなることがあるのでさけること。
 - ② 連続散布は葉の周辺が黄化したり、硬化することがあるので過度の連用はさけること。
 - (4) キャベツに使用する場合には次の事項に注意すること。
 - ① 結球開始期以降の散布で薬害を生じることがあるので注意すること。
 - ② 炭酸カルシウム剤の所定量の添加は、薬害軽減に有効である。
 - (5) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
 - (6) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

3. 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- 1) イミノクタジン酢酸塩 25%液剤(ベフラン液剤 25)
 - (1) 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
 - (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 2) イミノクタジン酢酸塩 3%塗布剤([DIC]ベフラン塗布剤)
 - (1) 水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
 - (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 3) イミノクタジン酢酸塩 15.7%フロアブル(ベフトップジンフロアブル)
 - (1) 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
 - (2) 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
 - (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 4) イミノクタジン酢酸塩 7%水和剤(日曹ベフキノン水和剤)
 - (1) 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池周辺での使用はさけること。
 - (2) 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
 - (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

- 5) イミノクタジン酢酸塩 1.5%粉剤(MIC ラブサイドベフラン粉剤 DL)
 - (1) 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
 - (2) 散布後は水管理に注意すること。
 - (3) 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

- 6) イミノクタジン酢酸塩 5%水和剤 (ポリベリン水和剤)

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

- 7) イミノクタジン酢酸塩 2.5%水和剤 (日曹ベフドー水和剤)
 - (1) 本剤は水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
 - (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。
また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

V. 残留性及び水質汚濁性

1. 作物残留性試験

(1) 分析法

① GC 法

グアニジン塩酸塩を加え磨砕均質化した試料に
を加え抽出する。液液分配による精製後、
した後、
し、シリカゲルクロマトグラフィーで精製後、ガスクロマトグラフ
(GC-FTD、GC-NPD 又は GC-ECD)を用いて定量する。

② HPLC 法、LC/MS 法

グアニジン塩酸塩 磨砕均質化した試
料に
を加え抽出、液液分配及びイオン交換カラムにより精製後、高速液体クロマ
トグラフ(ポストカラム蛍光ラベル化システム)又は液体クロマトグラフ・質量
分析計(LC-MS)を用いて定量する。

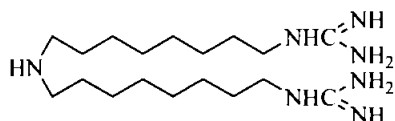
(2) 分析対象の化合物

一般名：イミノクタジン

化学名：1,1'-イミノジ(オクタメチレン)ジグアニジン

分子式：C₁₈H₄₁N₇

分子量：355.6



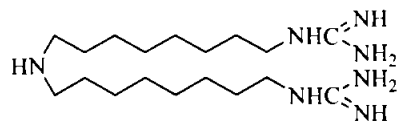
一般名：イミノクタジン酢酸塩

化学名：1,1'-イミノジ(オクタメチレン)ジグアニジウム=トリアセート

分子式：C₂₄H₅₃N₇O₆

分子量：535.7

構造式：



+3 CH₃COOH

換算係数：0.664

(参考)

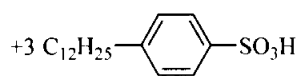
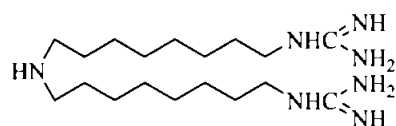
一般名：イミノクタジンアルベシル酸塩

化学名：1,1'-イミノジ(オクタメチレン)ジグアニジニウム=トリス(アルキルベンゼンスルホナート)

分子式： $C_{72}H_{131}N_7O_9S_3$

分子量：1335.1

構造式：



換算係数：0.266

(3) 残留試験結果

次ページ以下に記載

〔一覧表目次〕

作物名	ページ
水稻	残留-4~5
小麦	残留-6~9
大麦	残留-9~10
キャベツ	残留-10
たまねぎ	残留-10
ねぎ(根深ねぎ、葉ねぎ)	残留-10
にんにく	残留-11
アスパラガス	残留-11
にんじん	残留-11
トマト	残留-11
なす	残留-12
きゅうり	残留-12~13
かぼちゃ	残留-13~14
すいか	残留-14
メロン	残留-14
温州みかん	残留-15~18
なつみかん	残留-19~21
小粒柑橘	残留-21~22
りんご	残留-22~30
なし	残留-30~33
もも	残留-33~34
うめ	残留-34
ぶどう	残留-34~35
かき	残留-35
くり	残留-36
茶	残留-36

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		社内分析機関			
					イミノクタジン					
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					(財)残留農薬研究所 (No. 7) ¹⁾	大日本インキ(株) (No. 8) ¹⁾				
水稻 (露地) (玄米) S55 ガスクロ法 HPLC 法	粉剤(2%) 4kg/10a 2回または4回散布	福岡農試	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
			2	14	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
			2	21	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
			2	28	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
			4	14	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
			4	21	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
			4	28	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
			茨城農試	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	
		2		13	0.04	0.04	<0.04	<0.04		
		2		19	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
		2		26	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
		4		13	0.04	0.04	<0.04	<0.04		
		4		19	0.04	0.04	<0.04	<0.04		
							(財)残留農薬研究所 (No. 29) ¹⁾	大日本インキ(株) (No. 30) ¹⁾		
水稻 (露地) (玄米) S59 ガスクロ法 HPLC 法	粉剤 DL(1.5%) 4kg/10a 4回散布	日植防 高知	0	-	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003		
			4	14	0.015	0.013	0.010	0.009		
			4	21	0.015	0.013	0.005	0.005		
			4	27	0.006	0.006	0.011	0.009		
		千葉農試	0	-	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003		
			4	14	0.015	0.014	0.014	0.013		
			4	20	0.007	0.006	0.007	0.006		
			4	28	0.007	0.007	0.008	0.008		
水稻 (露地) (玄米) H14 HPLC 法	粉剤 DL(1.5%) 4kg/10a 3回散布	青森植防	0	-	/	/	<0.005	<0.005		
			3	14	/	/	0.007	0.007		
			3	21	/	/	0.006	0.006		
			3	28	/	/	<0.005	<0.005		
		熊本 農業研究 センター	0	-	/	/	<0.005	<0.005		
			3	14	/	/	0.005	0.005		
			3	21	/	/	<0.005	<0.005		
			3	28	/	/	<0.005	<0.005		
		石川植防	0	-	/	/	<0.005	<0.005		
			3	14	/	/	0.015	0.015		
			3	21	/	/	0.009	0.008		
			3	28	/	/	<0.005	<0.005		
		滋賀植防	0	-	/	/	<0.005	<0.005		
			3	14	/	/	0.008	0.008		
			3	21	/	/	<0.005	<0.005		
			3	28	/	/	<0.005	<0.005		

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンのリン酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		社内分析機関			
					イミノクタジン					
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					(財)残留農薬研究所 (No. 7) ¹⁾	大日本インキ(株) (No. 8) ¹⁾				
水稻 (露地) (稲わら) S55 ガスクロ法 HPLC 法	粉剤(2%) 4kg/10a 2回または4回散布	福岡農試	0	-	<0.06	<0.06	<0.4	<0.4		
			2	14	4.54	4.48	1.6	1.5		
			2	21	6.18	6.12	6.2	5.9		
			2	28	6.90	6.69	2.4	2.4		
			4	14	4.15	4.05	3.9	3.7		
			4	21	8.29	7.81	10.6	10.5		
			4	28	7.03	6.66	6.1	5.8		
			4	28	7.03	6.66	6.1	5.8		
		茨城農試	0	-	<0.06	<0.06	<0.4	<0.4		
			2	13	5.38	5.27	5.4	5.2		
			2	19	3.34	3.06	2.7	2.4		
			2	26	3.96	3.53	2.7	2.4		
			4	13	6.41	6.20	7.8	7.5		
			4	19	5.39	4.96	5.8	5.3		
					(財)残留農薬研究所 (No. 29) ¹⁾	大日本インキ(株) (No. 30) ¹⁾				
水稻 (露地) (稲わら) S59 ガスクロ法 HPLC 法	粉剤 DL(1.5%) 4kg/10a 4回散布	日植防 高知	0	-	<0.02	<0.02	<0.2	<0.2		
			4	14	4.68	4.26	3.8	3.6		
			4	21	4.09	3.65	2.8	2.8		
			4	27	1.02	0.92	2.5	2.3		
		千葉農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.2	<0.2		
			4	14	4.03	3.75	1.4	1.4		
			4	20	1.74	1.67	1.4	1.3		
			4	28	4.05	3.59	4.0	3.7		
								-	大日本インキ(株) (No. 92)	
			水稻 (露地) (稲わら) H14 HPLC 法	粉剤 DL(1.5%) 4kg/10a 3回散布	青森植防	0	-			<0.08
3	14						3.24	3.20		
3	21						2.99	2.99		
3	28						2.54	2.54		
熊本 農業研究 センター	0	-					<0.08	<0.08		
	3	14					2.72	2.56		
	3	21					2.08	2.06		
	3	28					1.41	1.38		
石川植防	0	-					<0.08	<0.08		
	3	14					2.79	2.78		
	3	21					1.99	1.98		
	3	28					0.39	0.38		
滋賀植防	0	-					<0.08	<0.08		
	3	14					2.37	2.36		
	3	21					1.87	1.75		
	3	28					1.22	1.14		

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンをアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析 センター(No. 15) ¹⁾	大日本インキ (No. 16) ¹⁾		
小麦 (露地) (子実) S57 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 100L/10a 1回根雪前散布	北海道 上川農試	0 1	- 273	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003
		北海道 十勝農試	0 1	- 262	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003
					(財)日本食品分析 センター(No. 17) ¹⁾	クマイイ化学工業(株) (No. 18) ¹⁾		
小麦 (露地) (脱穀した種子) S58 ガスクロ法	粉剤 DL(1.5%) 3kg/10a 1回根雪前散布	北海道 中央農試	0 1	- 245	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004
		北海道 上川農試	0 1	- 256	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004
					(財)日本食品分析 センター(No. 49) ¹⁾	大日本インキ (No. 50) ¹⁾		
小麦 (露地) (子実) S59 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 原液 1回種子処理 10mL/kg 種子(十勝) 100mL/kg 種子(北見) 500倍 3回散布 100~150 L/10a(十勝) 150 L/10a(北見) 合計 4回	北海道 十勝農試	0 4	- 245	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004
		北海道 北見農試	0 4	- 254	<0.003 <0.003	<0.003 <0.003	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004
					(財)日本食品分析 センター(No. 69) ¹⁾	大日本インキ (No. 70) ¹⁾		
小麦 (露地) (脱穀した種子) H2,3 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 150 L/10a 3回散布 2000倍 150 L/10a 1回散布 合計 4回	福島植防	0	-	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			4	30	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			4	40	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
		岐阜 農総研 センター	0 4	- 30	<0.004 0.004	<0.004 0.004	<0.004 <0.004	<0.004 <0.004
	液剤(25%) 1000倍 150 L/10a 4回散布		4	41	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシム酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (北三 No. 1) ¹⁾	(株)化学分析コンサルタント (北三 No. 2) ¹⁾		
小麦 (露地) (種子) H5 ガスクロ法	液剤(25%) 1000倍 150L/10a 1回散布 2000倍 150L/10a 1回散布 7077 ^g /L(15%)	北植防	0	-	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			6	30	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			6	40	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	500倍 150L/10a 2回散布 粉剤 DL(1.5%) 3kg/10a 2回散布 合計 6回	北海道 病害虫 防除所	0	-	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			6	30	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			6	40	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
					(財)日本食品分析 センター(No. 76) ¹⁾	大日本インキ (No. 77) ¹⁾		
小麦 (露地) (脱穀した種子) H6-8 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 150L/10a 3回散布 2000倍 150L/10a 2回散布 7077 ^g /L(15%) 500倍 150L/10a 2回散布 粉剤 DL(1.5%) 3kg/10a 2回散布 合計 9回	日植防 茨城	0	-	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			9	14	0.013	0.013	0.026	0.025
			9	21	0.004	0.004	0.007	0.007
		群馬植防	0	-	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			9	14	0.025	0.024	0.041	0.038
			9	21	0.020	0.018	0.025	0.023
	液剤(25%) 1000倍 150L/10a 5回散布 7077 ^g /L(15%) 500倍 150L/10a 2回散布 粉剤 DL(1.5%) 3kg/10a 2回 散布 合計 9回	日植防 茨城	0	-	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			9	14	0.035	0.033	0.044	0.044
			9	21	0.022	0.021	0.025	0.025
		群馬植防	0	-	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
			9	14	0.082	0.080	0.100	0.100
			9	21	0.030	0.029	0.044	0.044
埼玉植防	0	-			<0.004	<0.004		
	9	14			0.052	0.052		
	9	21			0.023	0.021		
長野植防 須坂	0	-			<0.004	<0.004		
	9	14			0.052	0.050		
	9	21			0.033	0.033		
					(財)日本食品分析センター (No. 100)	(株)日曹分析センター (No. 101)		
小麦 (露地) (玄麦) H17 HPLC法	7077 ^g /L(15.7%) 6倍 3回無人ヘリ散布 (出穂後 1回) 0.8L/10a(北海道) 0.84-0.98L/10a(群馬)	北植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		群馬植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	13	0.01	0.01	<0.01	<0.01
		3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンのアルカリ塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 102)	(株)日曹分析センター (No. 103)		
小麦 (露地) (種子) H17 HPLC 法	7077 ^g /L(15.7%) 出穂前 500 倍 2 回散布 出穂後 800 倍 1 回散布 100L/10a(岩手) 150L/10a(長野) 合計 3 回	岩手植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.03	0.03	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		長野植防 須坂	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.02	0.02	<0.01	<0.01
			3	14	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					(財)日本食品分析センター (No. 113)	(株)日曹分析センター (No. 114)		
小麦 (露地) (種子) H17 HPLC 法	液剤(25%) 1000 倍 3 回散布 (出穂後 1 回) 100L/10a(岩手) 130L/10a(青森) 150L/10a(十勝、長野) 合計 3 回	青森植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.08	0.08	0.04	0.04
			3	14	0.04	0.04	0.02	0.02
			3	28	0.02	0.02	0.01	0.01
		長野植防 松代	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.05	0.04	0.01	0.01
			3	14	0.02	0.02	0.01	0.01
			3	28	0.01	0.01	<0.01	<0.01
		岩手植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	7	/	/	0.02	0.02
			3	14	/	/	0.01	0.01
			3	28	/	/	0.01	0.01
日植調 十勝	0	-	/	/	<0.01	<0.01		
	3	6	/	/	0.01	0.01		
	3	13	/	/	0.04	0.04		
	3	27	/	/	0.01	0.01		
					(財)日本食品分析センター (No. 113)	(株)日曹分析センター (No. 114)		
小麦 (露地) (種子) H18 HPLC 法	液剤(25%) 1000 倍 3 回 散布 (出穂後 1 回) 100L/10a(岩手) 150L/10a(青森、長野)	青森植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	7	/	/	0.02	0.02
			3	14	/	/	0.04	0.04
			3	28	/	/	0.01	0.01
		岩手植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	7	/	/	0.02	0.02
			3	14	/	/	0.01	0.01
			3	28	/	/	<0.01	<0.01
		長野植防 松代	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	7	/	/	0.02	0.02
			3	14	/	/	0.01	0.01
			3	28	/	/	<0.01	<0.01

- 1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)
- 2) 申請者計算(イミノクタジンのアセチル硫酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 115)	(株)日曹分析センター (No. 116)		
小麦 (露地) (種子) H17, 18 HPLC 法	7077 [®] M(15.7%) 500倍 150L/10a 2回 散布(出穂前) 800倍 150L/10a 1回 散布(出穂後) 合計3回	群馬植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.06	0.06	0.01	0.01
			3	14	0.04	0.04	0.01	0.01
			3	28	0.01	0.01	<0.01	<0.01
		青森植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	7	/	/	0.02	0.02
			3	14	/	/	0.02	0.02
			3	28	/	/	<0.01	<0.01
		岩手植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	7	/	/	0.05	0.05
			3	14	/	/	0.03	0.02
			3	28	/	/	0.02	0.02
		長野植防 松代	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	7	/	/	0.01	0.01
			3	14	/	/	<0.01	<0.01
			3	28	/	/	<0.01	<0.01
					(財)残留農薬研究所 (No. 9) ¹⁾	三共株式会社 (No. 10) ¹⁾		
大麦 (露地) (種子) S56 ガスクロ法	液剤(25%) 250倍 30分間種子浸漬 1000倍 2回散布 100L/10a(栃木)、 150L/10a(茨城) 合計3回	茨城農試	0	-	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
			3	40	0.06	0.06	<0.06	<0.06
		栃木農試	0	-	<0.04	<0.04	<0.06	<0.06
	3		57	<0.04	<0.04	<0.06	<0.06	
	液剤(25%) 500倍 30分間種子浸漬	0	-	<0.04	<0.04	<0.06	<0.06	
		1	232	<0.04	<0.04	<0.06	<0.06	
					(財)日本食品分析センター (No. 117) ¹⁾	(株)日曹分析センター (No. 118) ¹⁾		
大麦 (露地) (種子) H18 LC/MS 法 HPLC 法	液剤(25%) 種子重量の0.5% 1回塗沫処理 1000倍 150L/10a 2回散布 合計3回	岩手植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	197	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		福井植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	177	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 119)	(株)日曹分析センター (No. 120)		
大麦 (露地) (種子) H19 LC/MS 法 HPLC 法	7077 ^g /L(15.7%) 1000 倍 150L/10a 2 回散布(出穂前) 1 回散布(出穂後) 合計 3 回	日植防 茨城	0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
			3	7	0.440	0.438	0.25	0.24
			3	14	0.353	0.352	0.17	0.16
		福井植防	3	28	0.125	0.124	0.06	0.06
			0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
			3	7	0.686	0.674	0.20	0.20
					(財)日本食品分析センター (サンケイキャベツ公) ¹⁾	(株)サンケイ化学(株) (サンケイキャベツ社) ¹⁾		
キャベツ (露地) (葉球) H1 ガスクロ法	水和剤(2.5%) 500 倍 250L/10a 3 回散布	群馬 農総試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		長野植防 松代	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
					(財)残留農薬研究所 (No. 35) ¹⁾	(財)川村理化学 研究所(No. 36) ¹⁾		
たまねぎ (露地) (鱗茎) S58 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(5%) 750 倍 150L/10a 5 回 散布	大阪 農林技術 センター	0	-	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
			5	3	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
			5	7	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
		和歌山 農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
			5	3	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
			5	7	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
					(財)日本食品分析 センター(クマイニ社) ¹⁾	(株)化学分析コンサルタント (クマイニ社) ¹⁾		
根深ねぎ (露地) (茎葉) H3 ガスクロ法	水和剤(5%) 500 倍 1 回 定植時根部浸漬 1500 倍 3 回散布 130-200L/10a(茨城) 200L/10a(埼玉) 合計 4 回	日植防 茨城	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		埼玉植防	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	14	<0.007	<0.007	0.020	0.020
			4	21	<0.007	<0.007	0.007	<0.007
4	30	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007			
					-	(株)化学分析コンサルタント (クマイニ社) ¹⁾		
葉ねぎ (露地) (茎葉) H3 ガスクロ法	水和剤(5%) 500 倍 1 回 浸漬 1500 倍 200L/10a 3 回散布 合計 4 回	長野植防 松代	0	-	/	/	<0.007	<0.007
			4	13	/	/	0.013	0.013
			4	20	/	/	<0.007	<0.007
		鳥取園試 西伯	4	29	/	/	<0.007	<0.007
			0	-	/	/	<0.007	<0.007
			4	14	/	/	<0.007	<0.007
		4	21	/	/	0.013	0.013	
		4	30	/	/	0.013	0.013	

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンをアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					青森りんご試験場 (クワイニシヅ公) ¹⁾			
にんにく (露地) (鱗茎) HI ガスクロ法	水和剤(5%) 1000倍 300L/10a 3回散布	青森農試 黒石市	0	-	<0.02	<0.02	/	/
			3	3	0.02	0.02		
			3	7	0.02	0.02		
			3	14	0.02	0.02		
		青森 畑作農試 三戸郡	0	-	<0.02	<0.02	/	/
			3	3	0.02	0.02		
					(財)日本食品分析 センター(No. 37) ¹⁾		大日本インキ (No. 38 社) ¹⁾	
アスパラガス (露地) (若茎) S60 ガスクロ法 HPLC 法	液剤(25%) 1000倍 400L/10a 8回 散布(北海道) 5回 散布(長野)	北海道 中央農試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			8	261	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		長野 野菜 花き試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	283	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
					(財)日本食品分析センター (クワイニシヅ公) ¹⁾		(株)化学分析コンサルタント (クワイニシヅ社) ¹⁾	
にんじん (露地) (根部) H2 ガスクロ法	水和剤(5%) 1500倍 5回散布 160L/10a(茨城) 200L/10a(高知)	日植防 茨城	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		日植防 高知	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
					(財)日本食品分析 センター(No. 33) ¹⁾		(財)川村理化学 研究所(No. 34) ¹⁾	
トマト (施設) (果実) S58 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(5%) 1000倍 200L/10a 3回または5回散布	日植防 茨城	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	1	0.013	0.013	0.013	0.013
			3	3	0.020	0.013	0.013	0.013
			3	7	0.020	0.013	0.007	0.007
			5	1	0.020	0.020	0.040	0.040
			5	3	<0.007	<0.007	0.020	0.013
			5	7	0.020	0.020	0.020	0.013
		静岡農試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	1	0.040	0.040	0.060	0.053
			3	3	0.046	0.040	0.053	0.046
			3	7	0.046	0.040	0.040	0.040
			5	1	0.053	0.046	0.100	0.093
			5	3	0.046	0.046	0.100	0.093
			5	7	0.040	0.040	0.046	0.040

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					イミノクタジン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)日本食品分析 センター(サンケイケイ公) ¹⁾	サンケイ化学(株) (サンケイケイ社) ¹⁾			
きゅうり (施設) (果実) S62 ガスクロ法	水和剤(2.5%) 500倍 250L/10a (大阪のみ 200L/10a、 千葉のみ 300L/10a) 3回 散布	日植防 高知	0 3	- 1	<0.007 0.040	<0.007 0.040	<0.007 0.053	<0.007 0.053	
		日植防 宮崎	0 3	- 1	<0.007 0.027	<0.007 0.027	<0.007 0.013	<0.007 0.013	
		鯉淵学園 茨城	0 3	- 1			<0.007 0.020	<0.007 0.020	
		新潟園試	0 3	- 1			<0.007 0.046	<0.007 0.046	
		大阪農林 技術センター	0 3	- 1			<0.007 0.007	<0.007 0.007	
		サンケイ化学 栃木	0 3	- 1			<0.007 0.013	<0.007 0.013	
		サンケイ化学 群馬	0 3	- 1			<0.007 0.013	<0.007 0.013	
		サンケイ化学 埼玉本庄	0 3	- 1			<0.007 0.013	<0.007 0.013	
		サンケイ化学 埼玉深谷	0 3	- 1			<0.007 0.013	<0.007 0.013	
		千葉農試	0 3	- 1			<0.007 0.040	<0.007 0.040	
					(財)日本食品分析センター (No. 31) ¹⁾	大日本インキ (No. 32) ¹⁾			
きゅうり (施設) (果実) S59 ガスクロ法 HPLC法	水和剤(5%) 1000倍 200L/10a 3回、5回 散布	日植防 高知	0 3 3	- 1 3	<0.007 0.033 0.020	<0.007 0.027 0.020	<0.007 0.046 0.027	<0.007 0.046 0.027	
			5 5	1 3	0.053 0.027	0.046 0.027	0.053 0.033	0.046 0.027	
			長崎 総農試	0 3 3	- 1 3	<0.007 0.033 0.020	<0.007 0.027 0.013	<0.007 0.020 0.020	<0.007 0.020 0.013
				5 5	1 3	0.027 0.013	0.027 0.013	0.040 0.027	0.040 0.020
							-	(株)日曹分析センター (No. 134) ³⁾	
		きゅうり (施設) (果実) H27 HPLC法 【GLP】	水和剤(2.5%) 500倍 7回散布 167 L/10a(石川) 267 L/10a(福井) 206 L/10a(群馬) 159-278 L/10a(高知)	石川植防	0 7	- 1			<0.01 0.01
福井植防	0 7			- 1			<0.01 0.01	<0.01 0.01	
群馬植防	0 7			- 1			<0.01 0.02	<0.01 0.02	
日植防 高知	0 7			- 1			<0.01 0.04	<0.01 0.04	

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンのアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

3) 2016年10月25日提出

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (サンケイ No. 1) ¹⁾	(株)化学分析コンサルタント (サンケイ No. 2) ¹⁾		
かぼちゃ (露地) (果実) H2 ガスクロ法	水和剤(2.5%) 500倍 250L/10a 5回散布	神奈川 園試 三浦	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	1	0.013	0.013	<0.007	<0.007
			5	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		鹿児島 農試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	1<0.007
			5	1	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
					(財)日本食品分析センター (クマイカボチャ公) ¹⁾	(株)化学分析コンサルタント (クマイカボチャ社) ¹⁾		
かぼちゃ (露地) (果実) H3 ガスクロ法	水和剤(5%) 1000倍 155~200L/10a(茨城) 200L/10a(石川) 4回散布	日植防 茨城	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		石川植防	4	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			4	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
							(財)日本食品分析センター (No. 43) ¹⁾	クマイ化学工業(株) (No. 44) ¹⁾
すいか (施設) (果肉) S59 ガスクロ法	水和剤(5%) 1000倍 150L/10a 5回散布	日植防 茨城	0	-	<0.007	<0.007	<0.004	<0.004
			5	1	<0.007	<0.007	<0.004	<0.004
			5	3	<0.007	<0.007	<0.004	<0.004
		三重農技 センター	0	-	<0.007	<0.007	<0.004	<0.004
			5	1	<0.007	<0.007	<0.004	<0.004
			5	3	<0.007	<0.007	<0.004	<0.004
					(財)日本食品分析 センター(No. 51) ¹⁾	大日本インキ (No. 52) ¹⁾		
メロン (施設) (果肉) S61 ガスクロ法 HPLC法	水和剤(5%) 1000倍 150L/10a 5回散布	日植防 茨城	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	1	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	3	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
		鳥取園試 西伯	5	7	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	1	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	3	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	7	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアパシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所 (No. 5) ¹⁾	大日本インキ (No. 6) ¹⁾		
温州みかん (露地) (果肉) S49 ガスクロ法	液剤(25%) 500倍 500L/10a(愛媛) 1000L/10a(果試) 1回散布	愛媛果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04
			1	3	0.10	0.09	0.12	0.12
			1	8	0.04	0.03	0.07	0.07
			1	13	<0.02	<0.02	0.05	0.05
			1	18	0.07	0.07	<0.04	<0.04
		農林省 果試 興津支場	0	-	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04
			1	3	<0.02	<0.02	0.05	0.04
			1	8	<0.02	<0.02	0.04	0.04
			1	15	<0.02	<0.02	0.04	0.04
			1	18	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04
					(財)日本食品分析 センター(No. 21) ¹⁾	大日本インキ (No. 22) ¹⁾		
温州みかん (露地) (果肉) S58 ガスクロ法 HPLC法	水和剤(5%) 750倍 2回散布 400L/10a(和歌山) 500L/10a(鹿児島) 200倍 1回散布 400L/10a(和歌山) 500L/10a(鹿児島) 合計3回	和歌山 果園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	28	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		鹿児島 果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	28	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
					(財)日本食品分析 センター(No. 64) ¹⁾	大日本インキ (No. 65) ¹⁾		
温州みかん (施設) (果肉) H2 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 500L/10a 2回 散布	香川農試 府中	0	-	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	7	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	14	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
		大分柑試 津久見	0	-	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	7	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	14	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
					(財)日本食品分析 センター(No. 78) ¹⁾	大日本インキ (No. 79) ¹⁾		
温州みかん (施設) (果肉) H3 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 2000倍 5回散布 400L/10a(静岡) 500L/10a(鹿児島)	静岡柑試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	7	0.020	0.020	0.02	0.02
			5	14	0.033	0.027	<0.02	<0.02
		鹿児島 果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	7	0.013	0.013	0.02	0.02
			5	14	0.027	0.027	<0.02	<0.02

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンのアセシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析 センター(No. 88)	(株)化学分析コンサルタント (No. 89)		
温州みかん (施設) (果肉) H12 HPLC 法	液剤(25%) 2000倍 400L/10a 3回散布	大分柑試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	1	0.04	0.04	<0.02	<0.02
			3	3	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		鹿児島 植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	1	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	3	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
					日本植防協会研究所 (No. 104-1)	(株)日曹分析センター (No. 105)		
温州みかん (施設) (果肉) H17 LC/MS 法	7077 ^g /L(15.7%) 1500倍 3回 散布 400L/10a(山口) 550L/10a(大分)	山口 大島柑試	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			3	1	0.09	0.09	<0.04	<0.04
			3	7	0.05	0.05	<0.04	<0.04
			3	21	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
		大分 肥料植防	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			3	1	0.05	0.05	<0.04	<0.04
			3	7	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			3	21	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
					-	(株)日曹分析センター (No. 121)		
温州みかん (施設) (果肉) H18 HPLC 法	7077 ^g /L(15.7%) 1500倍 3回散布 400 L/10a (高知のみ 500 L/10a)	三重植防	0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	0.09	0.09
			3	7	/	/	0.09	0.08
			3	21	/	/	0.07	0.06
		山口 大島柑試	0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	0.06	0.06
			3	7	/	/	<0.04	<0.04
			3	21	/	/	<0.04	<0.04
		日植防 高知	0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	0.13	0.12
			3	7	/	/	0.11	0.11
			3	21	/	/	0.04	0.04
		長崎果試	0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	0.08	0.07
			3	7	/	/	0.06	0.06
			3	21	/	/	0.04	0.04
温州みかん (施設) (果肉) H19 HPLC 法	7077 ^g /L(15.7%) 1500倍 500L/10a 3回散布	三重植防	0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	0.08	0.08
			3	7	/	/	0.13	0.12
			3	21	/	/	0.06	0.06
		日植防 高知	0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	0.08	0.08
			3	7	/	/	0.07	0.06
			3	21	/	/	<0.04	<0.04

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシム酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所 (No. 5) ¹⁾	大日本インキ (No. 6) ¹⁾		
温州みかん (露地) (果皮) S49 ガスクロ法	液剤(25%) 500倍 1回散布 500L/10a(愛媛) 1000L/10a(果試)	愛媛果試	0	-	<0.07	<0.07	<0.07	<0.07
			1	3	0.20	0.20	1.86	1.79
			1	8	0.27	0.20	0.73	0.66
			1	13	0.27	0.27	0.73	0.66
			1	18	0.27	0.20	0.33	0.33
		農林省 果試 興津支場	0	-	<0.07	<0.07	<0.07	<0.07
			1	3	0.53	0.53	1.00	0.93
			1	8	0.86	0.86	1.39	1.33
			1	15	0.60	0.53	1.00	0.93
					(財)日本食品分析センター (No. 21) ¹⁾	大日本インキ (No. 22) ¹⁾		
温州みかん (露地) (果皮) S58 ガスクロ法 HPLC法	水和剤(5%) 750倍 2回散布 400L/10a(和歌山) 500L/10a(鹿児島) 200倍 1回散布 400L/10a(和歌山) 500L/10a(鹿児島) 合計3回	和歌山 果園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	7	0.896	0.890	0.82	0.81
			3	14	0.558	0.558	0.63	0.62
			3	21	0.684	0.664	0.89	0.88
		鹿児島 果試	3	28	0.604	0.584	0.48	0.48
			0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	7	0.677	0.664	0.58	0.54
			3	14	0.465	0.452	0.51	0.48
			3	21	0.325	0.319	0.37	0.31
			3	28	0.212	0.206	0.21	0.19
					(財)日本食品分析センター (No. 64) ¹⁾	大日本インキ (No. 65) ¹⁾		
温州みかん (施設) (果皮) H2 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 500L/10a 2回散布	香川農試 府中	0	-	0.03	0.03	<0.06	<0.06
			2	7	2.57	2.56	2.71	2.70
			2	14	1.90	1.87	2.37	2.35
		大分柑試 津久見	0	-	<0.03	<0.03	<0.06	<0.06
			2	7	1.42	1.42	1.75	1.74
			2	14	1.55	1.51	1.65	1.64
					(財)日本食品分析 センター(No. 78) ¹⁾	大日本インキ (No. 79) ¹⁾		
温州みかん (施設) (果皮) H3 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 2000倍 400L/10a(静岡) 500L/10a(鹿児島) 5回散布	静岡柑試	0	-	<0.03	<0.03	<0.2	<0.2
			5	7	2.59	2.55	2.3	2.2
			5	14	2.05	1.99	2.1	2.1
		鹿児島 果試	0	-	<0.03	<0.03	<0.2	<0.2
			5	7	1.32	1.29	1.4	1.4
			5	14	1.33	1.30	1.2	1.1

1) 申請者計算(換算係数0.664を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンのアパシ酸塩として分析しているため換算係数0.266を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 90)	(株)化学分析コンサルタント (No. 91)		
温州みかん (施設) (果皮) H12 HPLC 法	液剤(25%) 2000倍 400L/10a 3回散布	大分柑試	0	-	0.21	0.20	0.36	0.35
			3	1	2.09	2.04	2.24	2.15
			3	3	2.29	2.17	2.14	2.12
			3	7	1.67	1.61	1.63	1.56
		鹿児島 植防	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			3	1	0.98	0.96	1.45	1.44
			3	3	0.69	0.68	1.19	1.18
			3	7	0.52	0.52	0.99	0.98
					日本植防協会研究所 (No. 104-2)	(株)日曹分析センター (No. 105)		
温州みかん (施設) (果皮) H17 LC/MS 法	7077 ^g /L(15.7%) 1500倍 3回散布 400L/10a(山口) 550L/10a(大分)	山口 大島柑試	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			3	1	2.64	2.59	1.15	1.12
			3	7	1.26	1.26	1.45	1.37
		大分 肥料植防	3	21	0.91	0.90	0.61	0.61
			0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			3	1	1.33	1.28	0.22	0.21
			3	7	0.59	0.58	0.11	0.10
			3	21	0.55	0.55	0.09	0.09
					-	(株)日曹分析センター (No. 121)		
温州みかん (施設) (果皮) H18 HPLC 法	7077 ^g /L(15.7%) 1500倍 3回散布 400L/10a (高知のみ 500L/10a)	三重植防	0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	1.34	1.30
			3	7	/	/	1.22	1.22
			3	21	/	/	1.22	1.14
		山口 大島柑試	0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	0.83	0.80
			3	7	/	/	0.74	0.71
		日植防 高知	3	21	/	/	0.42	0.41
			0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	0.71	0.70
		長崎果試	3	7	/	/	0.72	0.72
			3	21	/	/	0.92	0.91
			0	-	/	/	<0.04	<0.04
			3	1	/	/	0.62	0.60
		長崎果試	3	7	/	/	0.69	0.68
			3	21	/	/	0.54	0.53
0	-		/	/	<0.04	<0.04		
3	1		/	/	2.80	2.75		
温州みかん (施設) (果皮) H19 HPLC 法	7077 ^g /L(15.7%) 1500倍 500L/10a 3回散布	三重植防	3	7	/	/	1.56	1.52
			3	21	/	/	1.02	1.00
			0	-	/	/	<0.04	<0.04
		日植防 高知	3	1	/	/	1.59	1.48
			3	7	/	/	0.67	0.64
			3	21	/	/	0.61	0.60

- 1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)
- 2) 申請者計算(イミノクタジンをアルベチン酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 25) ¹⁾	大日本インキ (No. 26) ¹⁾		
なつみかん (露地) (果肉) S58 ガスクロ法 HPLC 法	液剤(25%) 1000倍 500L/10a 1回散布	千葉 暖地園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			1	7	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			1	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			1	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			1	28	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		神奈川 園試 根府川	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			1	7	0.007	0.007	0.007	0.007
			1	14	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			1	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			1	28	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
					(財)日本食品分析 センター(No. 66) ¹⁾	大日本インキ (No. 67) ¹⁾		
なつみかん (露地) (果肉) H1 ガスクロ法 HPLC 法	液剤(25%) 1000倍 2回散布 400L/10a(山口) 500L/10a(大分)	山口 萩柑試	0	-	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	7	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	14	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
		大分柑試 津久見	0	-	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	7	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
			2	14	<0.007	<0.007	<0.006	<0.006
					(財)日本食品分析 センター(No. 80) ¹⁾	大日本インキ (No. 81) ¹⁾		
なつみかん (露地) (果肉) H4 ガスクロ法 HPLC 法	液剤(25%) 2000倍 400L/10a(千葉) 500L/10a(鹿児島) 3回散布	千葉 暖地園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	7	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	14	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
		鹿児島 果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	7	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	14	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
					(財)日本食品分析 センター(No. 25) ¹⁾	大日本インキ (No. 26) ¹⁾		
なつみかん (露地) (果皮) S58 ガスクロ法 HPLC 法	液剤(25%) 1000倍 500L/10a 1回散布	千葉 暖地園試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			1	7	0.07	0.07	0.11	0.11
			1	14	0.02	0.02	0.07	0.07
			1	21	0.04	0.04	0.07	0.05
			1	28	0.05	0.05	0.09	0.08
		神奈川 園試 根府川	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			1	7	0.33	0.32	0.28	0.28
			1	14	0.25	0.24	0.27	0.24
			1	21	0.17	0.16	0.12	0.11
			1	28	0.09	0.08	0.14	0.12

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 66) ¹⁾	大日本インキ (No. 67) ¹⁾		
なつみかん (露地) (果皮) H1 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 2回散布 400L/10a(山口) 500L/10a(大分)	山口 萩柑試	0	-	<0.02	<0.02	<0.06	<0.06
			2	7	0.99	0.98	1.03	1.02
			2	14	0.65	0.65	0.64	0.64
		大分柑試 津久見	0	-	<0.02	<0.02	<0.06	<0.06
			2	7	0.80	0.76	0.82	0.82
			2	14	0.66	0.64	0.70	0.69
なつみかん (露地) (果皮) H3 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 400L/10a (千葉、神奈川、和歌山、徳島、 大分) 500L/10a (山口、長崎、鹿児島)	千葉 暖地試	0	-	/	/	<0.06	<0.06
			2	7	/	/	0.31	0.31
			2	14	/	/	0.29	0.29
		神奈川 園試 根府川	0	-	/	/	<0.06	<0.06
			2	7	/	/	0.68	0.66
			2	14	/	/	0.74	0.72
		和歌山 園試	0	-	/	/	<0.06	<0.06
			2	7	/	/	0.86	0.84
			2	14	/	/	0.81	0.81
		山口 萩柑試	0	-	/	/	<0.06	<0.06
			2	7	/	/	1.06	1.04
			2	14	/	/	0.68	0.66
		徳島果試	0	-	/	/	<0.06	<0.06
			2	7	/	/	0.74	0.73
2	14		/	/	0.80	0.78		
長崎果試	0	-	/	/	<0.06	<0.06		
	2	7	/	/	0.82	0.80		
	2	14	/	/	0.67	0.66		
大分柑試	0	-	/	/	<0.06	<0.06		
	2	7	/	/	0.99	0.97		
	2	14	/	/	0.97	0.96		
鹿児島 果試	0	-	/	/	<0.06	<0.06		
	2	7	/	/	0.58	0.55		
	2	14	/	/	0.42	0.40		
					(財)日本食品分析センター (No. 80) ¹⁾	大日本インキ (No. 81) ¹⁾		
なつみかん (露地) (果皮) H4 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 2000倍 400L/10a(千葉) 500L/10a(鹿児島) 3回散布	千葉 暖地園試	0	-	<0.02	<0.02	<0.2	<0.2
			3	7	0.78	0.74	0.7	0.6
			3	14	0.31	0.31	0.4	0.3
		鹿児島 果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.2	<0.2
			3	7	0.42	0.42	0.3	0.3
			3	14	0.11	0.10	0.3	0.3

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンをアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本植防協会研究所 (No. 94)		大日本インキ (No. 95)	
なつみかん (露地) (果実全体) H15 HPLC 法	液剤(25%) 2000 倍 495L/10a(和歌山) 400L/10a(大分) 2回 散布	和歌山 植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05
			2	1	0.37	0.36	0.19	0.18
			2	7	0.13	0.13	0.11	0.11
			2	21	0.02	0.02	0.07	0.07
		大分 肥料植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05
			2	1	0.4	0.39	0.28	0.28
					(財)日本食品分析センター (No. 97)		(株)化学分析コンサルタント (No. 98)	
なつみかん (露地) (果実全体) H16 HPLC 法	水和剤(5%) 750 倍 1200L/10a(山口) 640L/10a(大分) 2回 散布	山口 萩柑試	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			2	1	0.16	0.16	0.24	0.24
			2	3	0.16	0.16	0.21	0.21
			2	21	0.05	0.05	0.07	0.07
		大分 肥料植防	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			2	1	0.06	0.06	0.17	0.16
					日本植防協会研究所 (No. 106)		(株)日曹分析センター (No. 107)	
なつみかん (露地) (果実全体) H17 HPLC 法	7077 ^g /L(15.7%) 1500 倍 400L/10a 2回 散布	三重植防	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			2	1	0.48	0.46	0.11	0.11
			2	7	0.13	0.13	0.08	0.08
			2	21	0.15	0.14	0.06	0.06
		日植防 宮崎	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			2	1	0.30	0.30	0.20	0.19
					-		大日本インキ (No. 96)	
小粒柑橘 (露地) (果実全体) H15 HPLC 法	液剤(25%) 2000 倍 400L/10a(和歌山) 500L/10a(徳島) 600L/10a(大分) 840-1120L/10a(山口) 2回 散布	和歌山 植防 (ゆず)	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			2	1	/	/	0.11	0.10
			2	3	/	/	0.09	0.09
			2	21	/	/	0.05	0.05
		山口 萩柑試 (ゆず)	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			2	1	/	/	0.47	0.46
			2	3	/	/	0.37	0.37
			2	21	/	/	0.15	0.14
		徳島植防 (すだち)	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			2	1	/	/	0.44	0.43
			2	3	/	/	0.25	0.24
			2	21	/	/	<0.05	<0.05
大分柑試 (かぼす)	0	-	/	/	<0.05	<0.05		
	2	1	/	/	0.21	0.21		
	2	3	/	/	0.16	0.15		
	2	21	/	/	0.06	0.06		

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンのアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					イミノクタジン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
						(株)化学分析コンサルタント (No. 99)			
小粒柑橘 (露地) (果実全体) H15 HPLC 法	水和剤(5%) 750 倍 400L/10a(徳島) 640L/10a(大分) 2 回 散布	徳島植防 (すだち)	0	-	/	/	<0.05	<0.05	
			2	1			0.12	0.12	
			2	3			0.11	0.10	
			2	21			0.09	0.09	
		大分 肥料植防 (かぼす)	0	-	/	/	<0.05	<0.05	
			2	1			0.12	0.12	
			2	3			<0.05	<0.05	
			2	21			<0.05	<0.05	
						(株)日曹分析センター (No. 108)			
小粒柑橘 (露地) (果実全体) H17 HPLC 法	7077 ^g /L(15.7%) 1500 倍 2 回 散布 500L/10a(徳島) 640L/10a(大分)	徳島植防 (すだち)	0	-	/	/	<0.04	<0.04	
			2	1			0.19	0.18	
			2	14			0.05	0.04	
			2	28			0.06	0.05	
		大分 肥料植防 (かぼす)	0	-	/	/	<0.04	<0.04	
			2	1			0.08	0.08	
			2	13			<0.04	<0.04	
			2	28			<0.04	<0.04	
					(財)残留農薬研究所 (No. 1) ¹⁾	大日本インキ (No. 2) ¹⁾			
りんご (露地) (果実) S54 ガスクロ法	液剤(25%) 500 倍 2 回散布 250L/10a,50L/樹 塗布剤(3%) 原液 1 回塗布 合計 3 回	北海道 中央農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	189	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
		青森 畑作園試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	182	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
		液剤(25%) 500 倍 2 回散布 250L/10a,50L/樹 塗布剤(3%) 原液 1 回塗布 液剤(25%) 1000 倍 250L/10a 8 回散布 合計 11 回	北海道 中央農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
				11	14	0.13	0.13	0.09	0.09
	11			30	0.09	0.09	0.05	0.05	
	青森 畑作園試		0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			11	14	0.02	0.02	0.04	0.04	
			11	28	0.07	0.07	0.07	0.07	
	11	43	0.09	0.09	0.09	0.09			

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジナルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					イミノクタジン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)日本食品分析 センター(No. 23) ¹⁾	大日本インキ (No. 24) ¹⁾			
りんご (露地) (果実) S58 ガスクロ法 HPLC法	塗布剤(3%) 原液 1回樹幹塗布 液剤(25%) 1000倍 4回散布 500L/10a(秋田) 600L/10a(長野) 合計5回	秋田果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	
			5	30	0.120	0.120	0.053	0.053	
			5	45	0.113	0.106	0.100	0.100	
			5	60	0.093	0.093	0.093	0.080	
	長野植防	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007		
		5	30	0.080	0.080	0.046	0.040		
		5	45	0.033	0.027	0.046	0.040		
		5	60	0.040	0.040	0.020	0.013		
					(財)日本食品分析 センター(No. 39) ¹⁾	大日本インキ (No. 40) ¹⁾			
りんご (露地) (果実) S61 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 3回散布 300L/10a(青森) 500L/10a(長野) 塗布剤(3%) 原液 1回塗布 合計 4回	青森 りんご試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
			4	147	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
		長野植防	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
			4	171	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
	青森 りんご試	液剤(25%) 1000倍 6回散布 (開花後3回) 300-500L/10a(青森) 500L/10a(長野)	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
			6	30	0.040	0.040	0.07	0.07	
			6	46	0.027	0.027	0.05	0.04	
			6	60	0.020	0.020	0.02	0.02	
			長野植防	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
				6	30	0.066	0.066	0.07	0.07
						(財)日本食品分析 センター(No. 45) ¹⁾	大日本インキ (No. 46) ¹⁾		
	りんご (露地) (果実) S62 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1500倍 5回散布 600L/10a(青森) 700L/10a(秋田)	青森 りんご試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
5				30	<0.007	<0.007	0.03	0.03	
秋田果試			5	40	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
			0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
5			30	0.013	0.013	0.03	0.03		
			5	45	0.020	0.013	0.02	0.02	

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンをアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析 センター(No. 60) ¹⁾	大日本インキ (No. 61) ¹⁾		
りんご (露地) (果実) H1 ガスクロ法 HPLC 法	液剤(25%) 1500倍 5回散布 600L/10a(山形、長野、岩手) 700L/10a(秋田、新潟)	山形園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	21	0.066	0.066	0.05	0.04
			5	31	0.060	0.053	0.04	0.04
		長野植防 南信	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			5	21	0.013	0.013	<0.02	<0.02
			5	30	0.007	0.007	<0.02	<0.02
		秋田果試	0	-			<0.02	<0.02
			5	21			0.08	0.08
			5	30			0.06	0.05
		岩手園試	0	-			<0.02	<0.02
			5	21			0.08	0.08
			5	30			0.06	0.06
		新潟農試	0	-			<0.02	<0.02
			5	20			0.04	0.04
5	30				0.02	0.02		
長野植防 須坂	0	-			<0.02	<0.02		
	5	21			0.03	0.03		
	5	30			0.02	0.02		
					-	大日本インキ (No. 68) ¹⁾		
りんご (露地)(果実) H2 HPLC 法	液剤(25%) 1500倍 600L/10a 5回散布	長野植防 須坂	0	-			<0.02	<0.02
			5	20			0.02	0.02
			5	30			<0.02	<0.02
青森 りんご試		0	-			<0.02	<0.02	
		5	21			0.03	0.03	
		5	30			<0.02	<0.02	
りんご (露地) (果実) H3 HPLC 法		長野植防 須坂	0	-			<0.02	<0.02
			5	21			<0.02	<0.02
			5	30			<0.02	<0.02
長野植防 南信		0	-			<0.02	<0.02	
		5	21			<0.02	<0.02	
		5	30			<0.02	<0.02	

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンをアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析 センター(No. 82) ¹⁾	大日本インキ (No. 83) ¹⁾		
りんご (露地) (果実) H7 ガスクロ法 HPLC 法	液剤(25%) 500倍 2回散布(芽出期) 350L/10a(秋田) 600L/10a(石川) 塗布剤(3%) 原液 2回 樹幹塗布	秋田果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			7	7	0.100	0.100	0.100	0.093
			7	14	0.060	0.053	0.053	0.053
	液剤(25%) 1500倍 3回散布 500L/10a(秋田) 600L/10a(石川) 合計 7回	石川植防	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			7	7	0.080	0.080	0.066	0.066
			7	14	0.033	0.027	0.033	0.027
					日本植防協会研究所 (No. 92-2)	(株)化学分析 コンサルタント(No. 93)		
りんご (露地) (果実) H15 HPLC 法	液剤(25%) 500倍 300L/10a 3回散布(開花前) 塗布剤(3%) 原液 2回 塗布	青森植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			8	1	0.12	0.12	0.22	0.22
			8	3	0.12	0.12	0.16	0.16
			8	7	0.03	0.03	0.08	0.08
		8	21	0.05	0.05	0.04	0.04	
		石川植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			8	1	0.10	0.10	0.13	0.12
			8	3	0.08	0.08	0.13	0.12
	8		7	0.08	0.08	0.06	0.06	
	8	21	0.02	0.02	0.06	0.05		
	岩手植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02	
		8	1	/	/	0.22	0.22	
		8	3	/	/	0.16	0.15	
		8	7	/	/	0.12	0.12	
	8	21	/	/	0.09	0.08		
	長野植防 須坂	0	-	/	/	<0.02	<0.02	
8		1	/	/	0.22	0.22		
8		3	/	/	0.14	0.14		
8		7	/	/	0.13	0.13		
8	21	/	/	0.04	0.04			

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンのアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		社内分析機関			
					イミノクタジン					
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					-				(株)日曹分析 センター(No. 109)	
りんご (露地) (果実) H17 HPLC 法	液剤(25%) 500倍 300L/10a 3回散布(展葉期) 塗布剤(3%) 原液 2回 塗布 液剤(25%) 1500倍 500L/10a 3回散布 合計 8回	石川植防	0	-	/	/	/	/	<0.02	<0.02
			8	1					0.07	0.07
			8	3					0.06	0.06
			8	7					0.03	0.03
		8	21	<0.02	<0.02					
		長野植防	0	-	/	/	/	/	<0.02	<0.02
			8	1					0.03	0.03
			8	3					<0.02	<0.02
8	7		<0.02	<0.02						
8	21	<0.02	<0.02							
					-				(株)日曹分析センター (No. 112)	
りんご (露地) (果実) H18 HPLC 法	液剤(25%) 500倍 300L/10a 3回散布(展葉期) 塗布剤(3%) 原液 2回 塗布 液剤(25%) 1500倍 500L/10a 3回散布 合計 8回	長野植防 須坂	0	-	/	/	/	/	<0.02	<0.02
			8	1					0.24	0.22
			8	3					0.10	0.10
			8	7					0.10	0.10
		8	21	0.03	0.02					
		石川植防	0	-	/	/	/	/	<0.02	<0.02
			8	1					0.21	0.20
			8	3					0.11	0.10
8	7		0.09	0.08						
8	21	0.06	0.05							
					日本植防協会研究所 (No. 110)		(株)エスコ (No. 111)			
りんご (露地) (果実) H15 HPLC 法	液剤(25%) 500倍 300L/10a 3回散布(展葉期) 塗布剤(3%) 原液 2回 塗布 水和剤(7%) 750倍 3回 散布 600L/10a(青森) 500L/10a(石川、岩手、長野) 合計 8回	青森植防	0	-	/	/	/	/	<0.02	<0.02
			8	1					0.11	0.11
			8	3					0.09	0.09
			8	14					0.08	0.08
		石川植防	0	-	/	/	/	/	<0.02	<0.02
			8	1					0.05	0.05
			8	3					0.03	0.03
			8	14					<0.02	<0.02
		岩手植防	0	-	/	/	/	/	<0.02	<0.02
			8	1					0.08	0.08
			8	3					0.04	0.04
			8	14					0.04	0.04
長野植防	0	-	/	/	/	/	<0.02	<0.02		
	8	1					0.08	0.08		
	8	3					0.02	0.02		
	8	14					<0.02	<0.02		

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンのアベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No. 2 公) ²⁾	大日本インキ (*No. 2 社) ²⁾		
りんご (露地) (果実) S61 ガスクロ法 HPLC 法	イミノクタジナルベシム酸塩水和剤 (40%) 500 倍 3 回散布 350L/10a(福島) 500L/10a(長野) 塗布剤(3%) 原液 1 回塗布	福島植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			7	30	0.011	0.011	0.02	0.02
			7	45	0.005	0.005	<0.02	<0.02
			7	60	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
	イミノクタジナルベシム酸塩水和剤 (40%) 1000 倍 500L/10a 3 回散布(開花後) 合計 7 回	長野植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			7	30	0.008	0.008	0.02	0.02
			7	45	0.003	0.003	0.02	0.02
			7	60	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
					日本食品分析センター (*No. 32 公) ²⁾	大日本インキ (*No. 32 社) ²⁾		
りんご (露地) (果実) H7 ガスクロ法 HPLC 法	イミノクタジナルベシム酸塩水和剤 (40%) 500 倍 3 回散布 350L/10a(秋田) 500L/10a(石川) 塗布剤(3%) 原液 2 回塗布	秋田果試	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			8	14	0.043	0.043	0.061	0.059
			8	21	0.032	0.029	0.053	0.051
			0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	イミノクタジナルベシム酸塩水和剤 (40%) 1000 倍 500L/10a 3 回散布(開花後) 合計 8 回	石川植防	8	14	0.021	0.021	0.019	0.016
			8	21	0.024	0.024	0.024	0.021
					日本食品分析センター (*No. FL2 公) ²⁾	大日本インキ (*No. FL2 社) ²⁾		
りんご (露地) (果実) H8 ガスクロ法 HPLC 法	イミノクタジナルベシム酸塩フロアブル (30%) 500 倍 300L/10a 3 回散布 塗布剤(3%) 原液 2 回樹幹塗布	茨城農総 センター 山間特産	0	-	<0.01	<0.01	<0.003	<0.003
			8	3	0.16	0.16	0.090	0.088
			8	7	0.18	0.18	0.133	0.128
			8	14	0.07	0.07	0.093	0.090
	イミノクタジナルベシム酸塩フロアブル (30%) 1000 倍 600L/10a 3 回散布(開花後) 合計 8 回	石川植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.003	<0.003
			8	3	0.17	0.16	0.210	0.200
			8	7	0.11	0.10	0.117	0.112
			8	14	0.07	0.07	0.088	0.085

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジナルベシム酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No. FL31 公)	(株)化学分析コンサルタント (*No. FL31 社)		
りんご (露地) (果実) H15 HPLC 法	イミノクタジナルベシル酸塩7077 [®] (30%) 500倍 300L/10a 3回散布 塗布剤(3%) 原液 2回塗布 イミノクタジナルベシル酸塩7077 [®] (30%) 1000倍 500L/10a (青森のみ 750倍 600L/10a) 3回散布(開花後) 合計 8回	青森植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			8	1	0.15	0.15	0.13	0.12
			8	3	0.12	0.12	0.11	0.10
			8	7	0.12	0.12	0.10	0.10
			8	21	0.10	0.10	0.08	0.08
		岩手植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			8	1	0.16	0.16	0.21	0.20
			8	3	0.13	0.13	0.14	0.14
			8	7	0.08	0.08	0.10	0.10
			8	21	0.05	0.04	0.07	0.06
		長野植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1	/	/	0.24	0.24
			8	3	/	/	0.13	0.13
			8	7	/	/	0.10	0.10
			8	21	/	/	0.03	0.02
		石川植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1	/	/	0.23	0.22
			8	3	/	/	0.22	0.22
			8	7	/	/	0.12	0.12
			8	21	/	/	0.09	0.08
りんご (露地) (果実) H16 HPLC 法		岩手植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1	/	/	0.06	0.06
			8	3	/	/	0.12	0.12
			8	7	/	/	0.06	0.06
			8	21	/	/	0.04	0.04
		長野植防 須坂	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			8	1	/	/	0.18	0.18
			8	3	/	/	0.22	0.22
			8	7	/	/	0.11	0.11
			8	21	/	/	0.06	0.06

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジナルベシル酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)																							
					公的分析機関		社内分析機関																					
					イミノクタジン																							
					最高値	平均値	最高値	平均値																				
							(株)日曹分析センター (*No. FL34 社)																					
りんご (露地) (果実) H18 HPLC 法	イミノクタジンアルベシム酸塩フロアブル (30%) 500倍 300L/10a 3回散布 塗布剤(3%) 原液 2回塗布 イミノクタジンアルベシム酸塩フロアブル (30%) 1000倍 600L/10a 3回散布(開花後) 合計 8回	青森植防	0	-	/	/	/	/	/																			
			8	1						/	/	/	/	/	/	/	/	/										
			8	3															/	/	/	/	/	/	/	/		
			8	7																							/	/
	8	21	/	/	/	/	/	/	/																			
	0	-								/	/	/	/	/	/	/	/	/										
	8	1																	/	/	/	/	/	/	/	/		
	8	3																									/	/
8	7	/	/	/	/	/	/	/	/																			
8	21									/	/	/	/	/	/	/	/	/										
0	-																		/	/	/	/	/	/	/	/		
8	1																										/	/
8	3	/	/	/	/	/	/	/	/																			
8	7									/	/	/	/	/	/	/	/	/										
8	21																		/	/	/	/	/	/	/	/		
0	-																										/	/
8	1	/	/	/	/	/	/	/	/																			
8	3									/	/	/	/	/	/	/	/	/										
8	7																		/	/	/	/	/	/	/	/		
8	21																										/	/
0	-	/	/	/	/	/	/	/	/																			
8	1									/	/	/	/	/	/	/	/	/										
8	3																		/	/	/	/	/	/	/	/		
8	7																										/	/
8	21	/	/	/	/	/	/	/	/																			
0	-									/	/	/	/	/	/	/	/	/										
8	1																		/	/	/	/	/	/	/	/		
8	3																										/	/
8	7	/	/	/	/	/	/	/	/																			
8	21									/	/	/	/	/	/	/	/	/										
0	-																		/	/	/	/	/	/	/	/		
8	1																										/	/
8	3	/	/	/	/	/	/	/	/																			
8	7									/	/	/	/	/	/	/	/	/										
8	21																		/	/	/	/	/	/	/	/		
0	-																										/	/
8	1	/	/	/	/	/	/	/	/																			
8	3									/	/	/	/	/	/	/	/	/										
8	7																		/	/	/	/	/	/	/	/		
8	21																										/	/
0	-	/	/	/	/	/	/	/	/																			
8	1									/	/	/	/	/	/	/	/	/										
8	3																		/	/	/	/	/	/	/	/		
8	7																										/	/
8	21	/	/	/	/	/	/	/	/																			
0	-									/	/	/	/	/	/	/	/	/										
8	1																		/	/	/	/	/	/	/	/		
8	3																										/	/
8	7	/	/	/	/	/	/	/	/																			
8	21									/	/	/	/	/	/	/	/	/										
0	-																		/	/	/	/	/	/	/	/		
8	1																										/	/
8	3	/	/	/	/	/	/	/	/																			
8	7									/	/	/	/	/	/	/	/	/										
8	21																		/	/	/	/	/	/	/	/		

- 1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)
- 2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシム酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)																							
					公的分析機関		社内分析機関																					
					イミノクタジン																							
					最高値	平均値	最高値	平均値																				
					-			(株)日曹分析センター (*No. 51-2 社)																				
りんご (露地) (果実) H17 HPLC 法	イミノクタジンアルベシム酸塩水和剤 (40%) 500 倍 300L/10a 3 回散布 塗布剤(3%) 原液 2 回 樹幹塗布	石川植防	0	-	/	/	/	/	<0.02	<0.02																		
			8	1							/	/	/	/	0.03	0.03												
			8	3													/	/	/	/	0.05	0.04						
			8	7																			/	/	/	/	<0.02	<0.02
			8	21																								
		0	-	/	/	/	/	<0.02	<0.02																			
		8	1							/	/	/	/	0.05	0.04													
		8	3													/	/	/	/	0.03	0.03							
		8	7																			/	/	/	/	<0.02	<0.02	
		8	21																									/
0	-	/	/	/	/	<0.02	<0.02																					
8	1							/	/	/	/	0.17	0.17															
8	3													/	/	/	/	0.12	0.11									
8	7																			/	/	/	/	0.08	0.08			
8	21																									/	/	/
0	-	/	/	/	/	<0.02	<0.02																					
8	1							/	/	/	/	0.21	0.20															
8	3													/	/	/	/	0.26	0.26									
8	7																			/	/	/	/	0.25	0.25			
8	21																									/	/	/
0	-	/	/	/	/	<0.02	<0.02																					
8	1							/	/	/	/	0.10	0.10															
8	3													/	/	/	/	0.10	0.10									
8	7																			/	/	/	/	0.08	0.08			
8	21																									/	/	/
0	-	/	/	/	/	<0.02	<0.02																					
8	1							/	/	/	/	0.21	0.20															
8	3													/	/	/	/	0.17	0.16									
8	7																			/	/	/	/	0.11	0.10			
8	21																									/	/	/
					(財)日本食品分析 センター(No. 41) ¹⁾	大日本インキ (No. 42) ¹⁾																						
なし (露地) (果実) S60 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(7%) 1000 倍 5 回 散布 500L/10a(福島) 350L/10a(千葉)	福島植防	0	-	/	/	/	/	<0.007	<0.007																		
			5	14							/	/	/	/	0.120	0.120												
			5	28													/	/	/	/	0.073	0.073						
			5	45																			/	/	/	/	0.007	0.007
			0	-																								
		5	14	/	/	/	/	0.053	0.053																			
		5	28							/	/	/	/	0.033	0.033													
		5	45													/	/	/	/	0.100	0.093							
																						(財)日本食品分析 センター(No. 41) ¹⁾	大日本インキ (No. 42) ¹⁾					
		0	-																			/	/	/	/	<0.007	<0.007	
5	14	/	/	/	/	0.06	0.06																					
5	28							/	/	/	/	0.03	0.03															
5	45													/	/	/	/	0.08	0.08									

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシム酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 47) ¹⁾	大日本インキ (No. 48) ¹⁾		
なし (露地) (果実) S62 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 250倍 250L/10a 1回散布	岩手園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			1	158	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
		長野植防 南信	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			1	153	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
					-	大日本インキ (No. 55) ¹⁾		
なし (露地)(果実) S63 HPLC法	塗布剤(3%) 3倍 2回塗布	秋田果試	0	-	/	/	<0.02	<0.02
		天王	2	113			<0.02	<0.02
		茨城園試	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			2	62			<0.02	<0.02
					(財)日本食品分析 センター(No. 56-0) ¹⁾	大日本インキ (No. 56) ¹⁾		
なし (露地) (果実) S63 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 250倍 250L/10a 1回散布(休眠期) 塗布剤(3%) 3倍 2回塗布 水和剤(5%) 1500倍 3回散布	福井農試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			6	14	0.040	0.04	0.05	0.04
			6	21	0.033	0.027	0.05	0.05
			6	30	0.027	0.027	0.03	0.03
	400L/10a(福井)、500L/10a(鳥 取) 合計6回	鳥取果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			6	14	0.046	0.046	0.06	0.05
			6	21	0.027	0.027	0.05	0.04
			6	30	0.027	0.027	0.03	0.03
	液剤(25%) 500倍 250L/10a 1回散布(休眠期) 塗布剤(3%) 3倍 2回塗布 水和剤(5%) 1500倍 400L/10a 3回散布 合計6回	長野植防 南信	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			6	14	0.033	0.033	0.06	0.05
			6	21	0.013	0.013	0.02	0.02
			6	30	0.013	0.013	0.03	0.02

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 62) ¹⁾	(株)化学分析コンサルタント (No. 63) ¹⁾		
なし (露地) (果実) S63-H1 ガスクロ法	液剤(25%) 250倍 250L/10a 1回休眠期散布 塗布剤(3%) 3倍 1回樹幹塗布 水和剤(10%) 1000倍 500L/10a 3回散布 合計 5回	鯉淵学園	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	21	0.126	0.120	0.086	0.080
			5	30	0.066	0.066	0.040	0.040
			5	45	0.020	0.020	0.013	0.013
		長野植防 南信	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	21	0.080	0.080	0.033	0.033
5	30		0.013	0.013	0.007	0.007		
5	45	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007			
なし (露地) (果実) H2 ガスクロ法	3倍 1回樹幹塗布 水和剤(10%) 1000倍 500L/10a 3回散布 合計 5回	千葉農試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	21	0.173	0.173	0.179	0.173
			5	30	0.066	0.060	0.086	0.086
		鳥取果樹 野菜試	5	45	0.053	0.046	0.020	0.020
			0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			5	21	0.139	0.139	0.173	0.173
5	30	0.080	0.080	0.066	0.066			
5	45	0.033	0.033	0.013	0.013			
					-	大日本インキ (No. 73) ¹⁾		
なし (露地) (果実) H4 HPLC法	液剤(25%) 250倍 250L/10a 1回散布 塗布剤(3%) 3倍 2回塗布 水和剤(7%) 1000倍 500L/10a 3回散布 合計 6回	鯉淵学園	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			6	30	/	/	0.06	0.06
			6	44	/	/	0.03	0.03
		長野植防 南信	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			6	30	/	/	0.05	0.05
			6	45	/	/	0.02	0.02
					(財)日本食品分析センター (No. 71) ¹⁾	大日本インキ (No. 72) ¹⁾		
西洋なし (露地) (果実) H3 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 1500倍 500L/10a(岩手) 700L/10a(秋田) 2回散布	岩手園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			2	30	0.033	0.027	0.03	0.03
			2	45	0.007	0.007	0.02	0.02
		2	60	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
		秋田果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			2	30	0.013	0.013	0.02	0.02
			2	45	0.007	0.007	<0.02	<0.02
			2	60	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンをアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 84) ¹⁾	大日本インキ (No. 85) ¹⁾		
西洋なし (露地) (果実) H4 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 250倍 1回散布 250L/10a(岩手) 350L/10a(秋田) 塗布剤(3%) 原液 2回塗布	岩手園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			6	30	0.040	0.040	0.033	0.027
			6	45	0.013	0.013	0.020	0.020
			6	60	0.007	0.007	0.020	0.020
	液剤(25%) 1500倍 3回散布 500L/10a(岩手) 700L/10a(秋田) 合計 6回	秋田果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			6	30	0.020	0.013	0.060	0.053
			6	45	0.007	0.007	0.020	0.020
			6	60	0.007	0.007	0.013	0.013
					(財)日本食品分析センター (サンケイ-モ公) ¹⁾	サンケイ化学(株) (サンケイ-モ社) ¹⁾		
もも (露地) (果肉) S58 ガスクロ法	水和剤(5%) 1000倍 3回 散布 500L/10a(山形) 800L/10a(山梨)	山形 砂丘地 農試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	7	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	14	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	21	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
	山梨果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
		3	7	<0.007	<0.007	0.02	0.02	
		3	14	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
		3	21	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
					(財)日本食品分析 センター(No. 57) ¹⁾	大日本インキ (No. 58) ¹⁾		
もも (露地) (果肉) S63 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 250倍 250L/10a 1回樹枝休眠期散布	長野植防 須坂	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			1	149	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
		福岡 農総試 豊前	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			1	118	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
					(財)日本食品分析センター (サンケイ-モ公) ¹⁾	サンケイ化学(株) (サンケイ-モ社) ¹⁾		
もも (露地) (果皮) S58 ガスクロ法	水和剤(5%) 1000倍 3回 散布 500L/10a(山形) 800L/10a(山梨)	山形 砂丘地 農試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	7	0.465	0.452	0.63	0.62
			3	14	0.246	0.239	0.64	0.57
			3	21	0.100	0.093	0.13	0.13
	山梨果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02	
		3	7	0.604	0.584	0.46	0.46	
		3	14	0.325	0.319	0.42	0.42	
		3	21	0.286	0.279	0.36	0.35	

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジナルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 57) ¹⁾	大日本インキ (No. 58) ¹⁾		
もも (露地) (果皮) S63 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 250倍 250L/10a 1回樹枝休眠期散布	長野植防 須坂	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			1	149	0.007	0.007	0.02	0.02
		福岡 農総試 豊前	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			1	118	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
					(財)日本食品分析 センター(No. 59-0) ¹⁾	大日本インキ (No. 59) ¹⁾		
うめ (露地) (果実) S63 ガスクロ法 HPLC法	水和剤(5%) 1000倍 500L/10a 3回散布	長野植防 南信	0	-	<0.007	0.007	<0.02	<0.02
			3	14	0.066	0.066	0.09	0.09
			3	21	0.027	0.027	0.03	0.03
			3	28	0.053	0.053	0.05	0.05
			3	45	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
		和歌山 果園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			3	14	0.080	0.080	0.10	0.09
			3	21	0.027	0.027	0.05	0.04
			3	28	0.027	0.027	0.04	0.04
			3	45	0.033	0.033	0.05	0.05
					(財)残留農業研究所 (No. 3) ¹⁾	八洲化学工業(株) (No. 4) ¹⁾		
ぶどう (露地) (果実) S56 ガスクロ法	液剤(25%) 250倍 250L/10a 1回 散布	山形園試 (小粒)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03
			1	103	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03
		岩手園試 (大粒)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03
			1	147	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03
	液剤(25%) 250倍 250L/10a 1回 散布 2000倍(山形)、 2500倍(岩手) 300L/10a 7回散布 合計 8回	山形園試 (小粒)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03
			8	14	0.23	0.17	0.21	0.21
			8	21	0.10	0.07	0.21	0.20
		岩手園試 (大粒)	8	30	0.08	0.08	0.10	0.09
0	-		<0.02	<0.02	<0.03	<0.03		
8	14	0.40	0.40	0.43	0.41			
8	21	0.27	0.24	0.37	0.37			
8	31	0.29	0.27	0.19	0.19			
					(財)日本食品分析センター (No. 27) ¹⁾	サンケイ化学(株) (No. 28) ¹⁾		
ぶどう (露地) (果実) S58 ガスクロ法	液剤(25%) 2000倍 300L/10a 4回散布	千葉 原種農場 (小粒)	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			4	30	0.252	0.239	0.43	0.43
			4	45	0.093	0.093	0.13	0.13
			4	60	0.007	0.007	<0.02	<0.02
		奈良農試 (小粒)	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			4	30	0.153	0.146	0.31	0.31
			4	44	0.086	0.080	0.18	0.17
			4	58	0.013	0.013	0.05	0.05

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジナルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析 センター(No. 74) ¹⁾	大日本インキ (No. 75) ¹⁾		
ぶどう (施設) (果実) H4 ガスクロ法 HPLC法	液剤(25%) 2000倍 300L/10a 2回散布 1000倍 300L/10a 2回散布 合計4回	岩手園試 (小粒)	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
			4	60	0.153	0.153	0.10	0.09
		滋賀農試 (小粒)	4	75	0.020	0.013	0.02	0.02
			0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02
					(財)日本食品分析センター (No. 122)	(株)日曹分析センター (No. 123)		
ぶどう (施設)(果実) H19 HPLC法	液剤(25%) 1000倍 250L/10a 2回散布	福島植防 (大粒)	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			2	45	0.34	0.34	0.25	0.24
			2	60	0.19	0.19	0.16	0.15
			2	70	0.13	0.12	0.12	0.12
					-	(株)日曹分析センター (No. 135) ³⁾		
ぶどう (施設) (果実) H29 HPLC法 【GLP】	液剤(25%) 250倍 1回散布(休眠期) 267L/10a(岩手) 333L/10a(石川) 1000倍 2回散布 333L/10a 合計3回	岩手植防 (大粒)	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	45	/	/	0.15	0.14
			3	60	/	/	0.10	0.10
		石川植防 (小粒)	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	45	/	/	0.39	0.38
			3	60	/	/	0.40	0.40
					(財)日本食品分析センター (クミイ-カキ 公) ¹⁾	(株)化学分析コンサルタント (クミイ-カキ社) ¹⁾		
かき (露地) (果実) H2 ガスクロ法	水和剤(5%) 1000倍 3回散布 400L/10a(和歌山) 500L/10a(山口)	和歌山 果園試	0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	21	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	30	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	45	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
		山口 萩柑試	3	60	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			0	-	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
			3	22	0.066	0.066	0.013	0.013
			3	30	0.033	0.033	<0.007	<0.007
					(財)日本食品分析センター (No. 125)	(株)日曹分析センター (No. 126)		
かき (露地) (果実) H19 HPLC法	水和剤(5%) 1000倍 700L/10a 3回散布	岐阜植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	14	0.04	0.04	<0.02	<0.02
			3	21	0.06	0.06	<0.02	<0.02
		和歌山 植防	3	28	0.03	0.03	<0.02	<0.02
			0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	14	0.05	0.05	0.03	0.03
							<0.02	<0.02
							<0.02	<0.02

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンをアルベシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

3) 2018年2月22日提出

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所 (No. 19) ¹⁾	大日本インキ (No. 20) ¹⁾		
くり (露地) (果実) S58 ガスクロ法 HPLC法	塗布剤(3%) 原液 100g/樹 2回塗布	熊本果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
			2	106	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
		茨城園試	0	-	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
			2	113	<0.02	<0.02	<0.007	<0.007
					(財)残留農薬研究所 (No. 13) ¹⁾	サンケイ化学(株) (No. 14) ¹⁾		
茶 (露地) (製茶) S56 ガスクロ法	水和剤(10%) 2000倍 200L/10a 3回散布	愛知 農総試 畑地技術 実験農場	0	-	<0.03	<0.03	<0.02	<0.02
			3	7	0.83	0.80	0.82	0.80
			3	14	0.25	0.21	0.25	0.23
			3	21	0.03	0.03	0.02	0.02
		奈良農試 茶業分場	0	-	<0.03	<0.03	<0.02	<0.02
			3	7	0.98	0.89	0.81	0.72
			3	14	0.25	0.24	0.27	0.24
			3	21	0.15	0.14	0.03	0.02
					(財)日本食品分析センター (No. 53) ¹⁾	大日本インキ (No. 54) ¹⁾		
茶 (露地) (荒茶) S62 ガスクロ法	液剤(25%) 1000倍 400L/10a 3回散布	神奈川 園試 津久井	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	40	0.09	0.09	0.05	0.05
			3	50	0.02	0.02	0.04	0.03
		三重農技 センター 茶業セ	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	40	0.06	0.05	0.03	0.03
			3	50	0.02	0.02	0.02	0.02
					-	大日本インキ (サンケイ茶社)		
茶 (露地)(荒茶) H4 HPLC法	水和剤(2.5%) 500倍 200L/10a 3回散布	埼玉茶試	0	-			<0.04	<0.04
			3	14			0.08	0.08
			3	21			<0.04	<0.04
		埼玉茶試	0	-			<0.04	<0.04
			3	14			0.14	0.14
			3	21			0.10	0.08
鹿児島 茶試	0	-			<0.04	<0.04		
	3	14			0.13	0.12		
	3	21			0.04	0.04		

1) 申請者計算(換算係数 0.664 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジンのシ酸塩として分析しているため換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (No. 1 公) ¹⁾		大日本イキ (No. 1 社) ¹⁾	
小麦 (露地) (種子) H2,3 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 3 回散布(出穂前) 100L/10a(茨城)、150L/10a(北 海道) 2000 倍 150L/10a 2 回 散布(出穂後) 合計 5 回	北植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	30	0.005	0.005	0.008	0.008
			5	40	0.003	0.003	0.003	0.003
		日植防 茨城	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	30	0.005	0.005	0.005	0.005
			5	38	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
					(財)日本食品分析 センター(No. 34 公) ¹⁾		大日本イキ (No. 34 社) ¹⁾	
小麦 (露地) (種子) H4,5 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 150L/10a 4 回 散布(出穂前) 2 回 散布(出穂後) 合計 6 回	日植防 茨城	0	-	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003
			6	21	0.006	0.005	0.011	0.011
			6	30	0.002	0.002	0.003	0.003
		福井植防	0	-	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003
			6	21	0.003	0.003	0.005	0.005
			6	30	<0.002	<0.002	0.003	0.003
					(財)残留農薬研究所 (No. 39 公) ¹⁾		大日本イキ (No. 39 社) ¹⁾	
だいで (露地) (乾燥子実) H6 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 200L/10a 4 回 散布	北植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			4	7	0.003	0.003	0.006	0.006
			4	14	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
		福島植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			4	7	<0.003	<0.003	0.006	0.006
			4	14	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
					(財)残留農薬研究所 (*No. FL9-1 公)		(株)エスコ (*No. FL9-1 社)	
だいで (露地) (乾燥子実) H12 HPLC 法	7077 ^g /L(30%) 6 倍 4 回無人ヘリ散布 0.8-0.9L/10a(群馬) 0.8L/10a(宮崎、新潟、石川)	群馬植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	28	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		宮崎 総農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	7	<0.003	<0.003	0.003	0.003
			4	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	28	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		新潟 上越病害 虫防除所	0	-	/	/	<0.003	<0.003
			4	7	/	/	<0.003	<0.003
			4	13	/	/	<0.003	<0.003
			4	28	/	/	<0.003	<0.003
		石川 農総センター	0	-	/	/	<0.003	<0.003
			4	7	/	/	0.003	0.003
			4	14	/	/	<0.003	<0.003
			4	28	/	/	<0.003	<0.003

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. FL9-3 公)	大日本イキ (*No. FL9-3 社)		
だいず (露地) (乾燥子実) H11 HPLC 法	7077 ^g /L(30%) 1000 倍 200L/10a 4 回散布	北植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			4	7	0.012	0.012	0.015	0.015
			4	14	0.012	0.012	0.013	0.013
			4	27	0.011	0.010	0.010	0.010
		岐阜植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			4	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			4	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			4	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
					-	大日本イキ (*No. FL9-3 社)		
だいず (露地) (乾燥子実) H12 HPLC 法	7077 ^g /L(30%) 1000 倍 200L/10a 4 回 散布	北植防	0	-	/	/	<0.003	<0.003
			4	7	/	/	<0.003	<0.003
			4	14	/	/	<0.003	<0.003
			4	27	/	/	<0.003	<0.003
		群馬植防	0	-	/	/	<0.003	<0.003
			4	7	/	/	<0.003	<0.003
			4	14	/	/	<0.003	<0.003
			4	28	/	/	<0.003	<0.003
		新潟植防	0	-	/	/	<0.003	<0.003
			4	7	/	/	<0.003	<0.003
			4	14	/	/	<0.003	<0.003
			4	28	/	/	<0.003	<0.003
三重植防	0	-	/	/	<0.003	<0.003		
	4	7	/	/	<0.003	<0.003		
	4	14	/	/	<0.003	<0.003		
	4	28	/	/	<0.003	<0.003		
					(財)日本食品分析センター (*No. 16 公) ²⁾	大日本イキ (*No. 16 社) ¹⁾		
いんげんまめ (露地) (乾燥子実) H1 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 500 倍 3 回散布 200L/10a(青森) 350L/10a(福井)	青森農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.004	<0.004
			3	7	<0.003	<0.003	<0.004	<0.004
			3	14	<0.003	<0.003	<0.004	<0.004
			3	28	<0.003	<0.003	<0.004	<0.004
		福井農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.004	<0.004
			3	7	<0.003	<0.003	0.009	0.008
			3	14	<0.003	<0.003	<0.004	<0.004
			3	28	<0.003	<0.003	<0.004	<0.004

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					イミノクタジン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					日本植防協会研究所 (*No. FL38 公)	(株)化学分析コンサルタント (*No. FL38 社)			
らっかせい (露地) (子実) H16 LC/MS 法	フロアブル(30%) 750倍 200L/10a 4回散布	日植防 茨城	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		鹿児島 農試 大隈	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					(財)日本食品分析センター (*No. 17 公) ²⁾	大日本イネ (*No. 17 社) ¹⁾			
ばれいしょ (露地) (塊茎) H1 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 500倍 200L/10a 5回散布	日植防 茨城	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
			5	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
			5	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
			5	28	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
		日植防 宮崎	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	28	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
					(財)日本食品分析センター (*No. 29 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 29 社) ¹⁾			
やまのいも (露地) (塊根) H7 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000倍 5回散布 200L/10a(群馬) 250L/10a(青森)	青森 畑作園試	0	-	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003	
			5	7	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003	
			5	14	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003	
		群馬植防	0	-	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003	<0.003
			5	7	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003	<0.003
			5	14	<0.002	<0.002	<0.003	<0.003	<0.003
					(財)日本食品分析センター (*No. FL9-2 公)	大日本イネ (*No. FL9-2 社) ¹⁾			
やまのいも (露地) (塊根) H9 HPLC 法	フロアブル(30%) 1000倍 250L/10a 5回散布	埼玉植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003	
			5	7	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003	
			5	14	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003	
		長野植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003	<0.003
			5	7	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003	<0.003
			5	14	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003	<0.003
			5	14	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003	<0.003
			5	14	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003	<0.003
					(財)日本食品分析センター (*No. FL19 公)	大日本イネ (*No. FL19 社)			
やまのいも (露地) (塊根) H11, 12 HPLC 法	フロアブル(30%) 1000倍 250L/10a 2回散布 12倍 3L/10a 3回 無人ヘリ散布 合計5回	青森 畑作園試	0	-	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003	
			5	8	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003	
			5	15	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003	
		鳥取園試	0	-	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003	<0.003
			5	7	<0.005	<0.005	0.003	0.003	
			5	14	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003	
			5	14	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003	
			5	14	<0.005	<0.005	<0.003	<0.003	

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
						(株)化学分析コンサルタント (*No. FL25 社)		
やまのいも (露地)(塊根) H15 HPLC 法	7077 ¹⁾ (30%) 200 倍 10 分間種いも浸漬	青森農林 総研センター	0	-	/	/	<0.005	<0.005
			1	131			<0.005	<0.005
		鳥取園試	0	-	/	/	<0.005	<0.005
			1	159			<0.005	<0.005
					(財)日本食品分析センター (*No. FL18 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. FL18 社) ¹⁾		
てんさい (露地) (根部) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 100L/10a 4 回散布	北海道 農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	7	0.051	0.051	0.056	0.053
			4	14	0.048	0.048	0.032	0.029
		北植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			4	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
					(財)日本食品分析センター (*No. FL22 公)	(株)化学分析コンサルタント (*No. FL22 社)		
キャベツ (露地) (葉球) H14 HPLC 法	7077 ¹⁾ (30%) 750 倍 250L/10a 3 回散布	愛知 農総試 園研	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	14	0.021	0.020	0.024	0.024
			3	21	0.081	0.077	0.084	0.082
			3	28	<0.005	<0.005	0.008	0.008
		日植防 宮崎	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	14	0.044	0.044	0.038	0.036
			3	21	0.006	0.006	0.008	0.008
			3	28	<0.005	<0.005	0.007	0.007
					(財)日本食品分析センター (*No. 22 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 22 社) ¹⁾		
レタス (施設) (葉部) H5 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 150L/10a 3 回散布	長野 営農技術 センター	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	7	0.149	0.149	0.559	0.545
			3	14	0.101	0.096	0.043	0.040
			3	28	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		日植防 高知	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	7	0.144	0.144	0.519	0.513
			3	14	0.154	0.146	0.170	0.165
			3	28	0.005	0.005	0.008	0.005
					(財)日本食品分析センター (*No. 13 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 13 社) ¹⁾		
たまねぎ (露地) (鱗茎) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 500 倍 200L/10a 5 回散布	長野植防 松代	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	1	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		日植防 高知	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	1	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. FL11 公)	大日本イキ (*No. FL11 社)		
たまねぎ (露地) (鱗茎) H13 HPLC 法	フロアブル(30%) 1000倍 500L/10a 5回散布	長野植防 松代	0	-	<0.008	<0.008	<0.005	<0.005
			5	1	0.012	0.012	<0.005	<0.005
			5	7	0.010	0.010	<0.005	<0.005
			5	14	<0.008	<0.008	<0.005	<0.005
		兵庫植防	0	-	<0.008	<0.008	<0.005	<0.005
			5	1	0.009	0.008	<0.005	<0.005
			5	7	<0.008	<0.008	<0.005	<0.005
			5	14	<0.008	<0.008	<0.005	<0.005
					(財)日本食品分析センター (*No. 45 公)	大日本イキ (*No. 45 社)		
根深ねぎ (露地) (茎葉) H9 HPLC 法	水和剤(40%) 2000倍 200L/10a 3回散布	茨城 農総センター 園試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	0.01	0.01
			3	21	<0.01	<0.01	0.01	0.01
			3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		埼玉植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.03	0.03	0.01	0.01
			3	21	0.01	0.01	0.01	0.01
			3	30	0.01	0.01	<0.01	<0.01
					(財)日本食品分析センター (*No. 44 公)	大日本イキ (*No. 44 社)		
葉ねぎ (露地) (茎葉) H9 HPLC 法	水和剤(40%) 2000倍 200L/10a 3回散布	徳島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		日植防 高知	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.02	0.02	0.02	0.02
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					(財)日本食品分析センター (*No. 43 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 43 社)		
にんにく (露地) (鱗茎) H8 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000倍 250L/10a 3回散布	青森農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	3	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		香川農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	3	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. 15 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 15 社) ¹⁾		
アスパラガス (露地) (若茎) H1 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 500倍 400L/10a 5回散布	北海道 中央農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	294	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		長野植防 松代	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	175	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
					(財)日本食品分析センター (*No. 20 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 20 社) ¹⁾		
アスパラガス (露地) (若茎) H5 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000倍 150-200L/10a 5回散布(北海道) 400L/10a 6回散布(長野)	北海道 道南農試	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			5	3	0.045	0.043	0.06	0.06
			5	7	0.005	0.005	<0.02	<0.02
		長野 野菜 花き試	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			6	3	0.035	0.035	0.06	0.06
			6	7	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
					(財)残留農業研究所 (*No. FL21 公)	大日本イキ (*No. FL21 社)		
アスパラガス (露地) (茎) H14 HPLC 法	フロアブル(30%) 4倍 1.6L/10a 5回無人ヘリ散布	北植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
			5	3	1.12	1.10	1.20	1.20
			5	7	0.36	0.36	0.30	0.30
			5	14	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
		長野 病害虫 防除所	0	-	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
			5	3	0.11	0.11	0.12	0.11
			5	7	<0.02	<0.02	0.01	0.01
			5	14	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
					日本植防協会研究所 (*No. FL26 公)	(株)化学分析コンサルタント (*No. FL26 社)		
アスパラガス (施設) (若茎) H14 HPLC 法	フロアブル(30%) 750倍 400L/10a 5回散布	長野植防 南信	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	1	0.58	0.58	0.61	0.59
			5	7	0.08	0.08	0.04	0.04
			5	14	0.01	0.01	0.01	0.01
		香川農試 三木	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	1	0.62	0.61	0.63	0.63
			5	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					日本食品分析センター (*No. 14 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 14 社) ¹⁾		
にんじん (露地) (根部) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 500倍 200L/10a 5回散布	長野植防 須坂	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	7	0.035	0.032	0.027	0.027
			5	14	0.008	0.005	0.011	0.011
		新潟 高冷地 農技センター	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No. FL5 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. FL5 社) ¹⁾		
にんじん (露地) (根部) H8 ガスクロ法 HPLC 法	7077 ²⁾ (30%) 500 倍 5 回散布 200L/10a(北海道) 66.7-200L/10a(茨城)	北植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	7	0.005	0.005	0.011	0.011
			5	14	<0.003	<0.003	0.011	0.011
		日植防 茨城	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
5	7		0.003	0.003	0.003	0.003		
5	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003		
					日本食品分析センター (*No. FL20 公)	大日本イキ (*No. FL20 社)		
にんじん (露地) (根部) H9, 10 HPLC 法	7077 ²⁾ (30%) 500 倍 200L/10a 3 回地上散布 8 倍 2L/10a 2 回無人ヘリ散布 合計 5 回	青森農試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		北植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
5	7		<0.01	<0.01	0.01	0.01		
5	13	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
					日本食品分析センター (*No. 21 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 21 社) ¹⁾		
トマト (施設) (果実) H5 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 6000 倍 150L/10a 3 回散布	岩手園試	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	1	0.005	0.005	0.005	0.005
			3	3	<0.003	<0.003	0.003	0.003
			3	7	<0.003	<0.003	0.005	0.005
日植防 宮崎	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003		
	3	1	0.008	0.008	0.013	0.011		
	3	3	0.005	0.005	0.016	0.016		
3	7	0.003	0.003	0.005	0.005			
					日本食品分析センター (*No. 36 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 36 社) ¹⁾		
トマト (施設) (果実) H6 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 3000 倍 250L/10a 3 回散布	岩手園試	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	1	0.019	0.016	0.040	0.037
			3	3	0.016	0.016	0.027	0.027
			3	7	0.005	0.005	0.024	0.024
日植防 茨城	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003		
	3	1	0.037	0.037	0.064	0.064		
	3	3	0.029	0.027	0.048	0.048		
3	7	0.027	0.024	0.061	0.059			

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No. FL7 公)	大日本イネ (*No. FL7 社)		
トマト (施設) (果実) H8 ガスクロ法 HPLC 法	7077 ^g /L(30%) 2000倍 250L/10a 3回散布	日植防 茨城	0	-	<0.01	<0.01	<0.001	<0.001
			3	1	0.04	0.04	0.048	0.048
			3	3	0.02	0.02	0.032	0.030
		長野農試 南信	0	-	<0.01	<0.01	<0.001	<0.001
			3	1	0.03	0.03	0.024	0.024
			3	3	0.04	0.04	0.033	0.032
			3	7	0.03	0.03	0.027	0.026
					日本植防協会研究所 (*No. FL36 公)	(株)日曹分析センター (*No. FL36 社)		
ミニトマト (施設) (果実) H17 HPLC 法	7077 ^g /L(30%) 4000倍 300L/10a(岩手) 250L/10a(長野) 2回散布	岩手植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			2	1	0.03	0.03	0.03	0.03
			2	7	0.04	0.04	0.04	0.04
			2	21	0.03	0.02	0.03	0.03
		長野植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			2	1	0.03	0.03	0.02	0.02
			2	7	0.03	0.03	0.03	0.02
			2	21	0.03	0.02	0.03	0.02
					日本食品分析センター (*No. 37 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 37 社) ¹⁾		
なす (施設) (果実) H7 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 6000倍 3回散布 200L/10a(群馬) 350L/10a(千葉)	群馬植防	0	-	<0.003	<0.003	/	/
			3	1	0.040	0.037	/	/
			3	3	0.019	0.016	/	/
		千葉農試 砂地 野菜研	0	-	<0.003	<0.003	/	/
			3	1	0.024	0.021	/	/
			3	3	0.019	0.019	/	/
	水和剤(40%) 3000倍 3回散布 200L/10a(群馬) 350L/10a(千葉)	群馬植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			3	1	0.120	0.117	0.061	0.059
		3	3	0.051	0.048	0.035	0.032	
		千葉農試 砂地 野菜研	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
3	1		0.064	0.064	0.048	0.043		
3	3	0.048	0.045	0.035	0.032			
					-	大日本イネ (*No. 41 社) ¹⁾		
なす (施設) (果実) H7 HPLC 法	水和剤(40%) 3000倍 3回散布 200-250L/10a(茨城) 300L/10a(高知)	日植防 茨城	0	-	/	/	<0.003	<0.003
			3	1	/	/	0.061	0.059
			3	3	/	/	0.059	0.053
		日植防 高知	0	-	/	/	<0.003	<0.003
			3	1	/	/	0.088	0.088
			3	3	/	/	0.053	0.053

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					イミノクタジン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					日本植防協会研究所 (No. FL18 公)	大日本イネ (*No. FL18 社)			
なす (施設) (果実) H14 HPLC 法	フロアブル(30%) 2000倍 200L/10a 3回散布	群馬植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	1	0.03	0.03	0.03	0.03	
			3	3	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
		日植防 宮崎	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	1	0.12	0.12	0.12	0.12	
			3	3	0.08	0.08	0.08	0.08	
			3	7	0.02	0.02	0.03	0.03	
					-	(株)エスコ (*No. FL18 社)			
なす (施設) (果実) H14 HPLC 法	フロアブル(30%) 2000倍 200L/10a 3回散布	長野植防 南信	0	-	/	/	<0.02	<0.02	
			3	1	/	/	0.06	0.06	
			3	3	/	/	0.04	0.04	
			3	7	/	/	0.02	0.02	
		新潟植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	1	0.02	0.02	0.02	0.02	
			3	3	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
					-	(株)日曹分析センター (No. 92) ³⁾			
なす (施設) (果実) H27 HPLC 法 【GLP】	フロアブル(30%) 2000倍 5回散布 200~250 L/10a 222~225 L/10a	(株)ニッソー フィールド サービス	0	-	/	/	<0.01	<0.01	
			5	1	0.03	0.03	0.03	0.03	
			5	3	0.03	0.03	0.03	0.03	
			5	7	0.01	0.01	0.01	0.01	
		油日アグリ サーチ(株)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			5	1	0.02	0.02	0.02	0.02	
			5	3	0.02	0.02	0.02	0.02	
			5	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
					日本食品分析センター (*No. 12 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 12 社) ¹⁾			
きゅうり (施設) (果実) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 4000倍 250L/10a 5回散布	群馬植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	
			5	1	0.011	0.011	<0.02	<0.02	
			5	3	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	
			5	7	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	
			石川植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
				5	1	0.011	0.008	0.02	0.02
		5		3	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	
		5		7	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

3) 2016年10月25日提出

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No. 38 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 38 社) ¹⁾		
きゅうり (施設) (果実) H5 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 2000倍 250L/10a 5回散布	三重植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	1	0.056	0.053	0.056	0.053
			5	3	0.024	0.021	0.029	0.027
			5	7	0.005	0.005	0.005	0.005
		日植防 宮崎	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	1	0.043	0.040	0.048	0.048
			5	3	0.013	0.011	0.011	0.011
			5	7	0.003	0.003	<0.003	<0.003
		宮城植防	0	-			<0.003	<0.003
			5	1			0.056	0.053
			5	3			0.029	0.027
			5	7			0.008	0.005
日植防 茨城	0	-			<0.003	<0.003		
	5	1			0.067	0.067		
	5	3			0.035	0.032		
	5	7			0.003	0.003		
					日本食品分析センター (*No. FL6 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. FL6 社) ¹⁾		
きゅうり (施設) (果実) H8 ガスクロ法 HPLC 法	7077 ²⁾ (30%) 1000倍 5回散布 80-250L/10a(茨城) 250L/10a(群馬)	日植防 茨城	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	1	0.082	0.080	0.045	0.043
			5	3	0.027	0.027	0.021	0.021
		群馬植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	1	0.069	0.069	0.067	0.064
			5	3	0.045	0.043	0.032	0.032
			5	7	0.021	0.021	0.013	0.013
								日本食品分析センター (*No. 49 公)
きゅうり (施設) (果実) H12 HPLC 法	水和剤(40%) 100g/5L/10a 5回常温煙霧	日植防 茨城	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	1	0.03	0.03	0.02	0.02
			5	3	0.02	0.02	<0.01	<0.01
		日植防 宮崎	5	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	1	0.01	0.01	0.02	0.02
			5	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					イミノクタジン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					—			(株)日曹分析センター (No. 95) ³⁾	
きゅうり (施設) (果実) H27 HPLC法 【GLP】	7077 ¹⁾ (30%) 2000倍 7回散布 167 L/10a(石川) 222 L/10a(福井) 159~267 L/10a(茨城) 160~280 L/10a(高知)	石川植防	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.02	<0.01 0.02	
		福井植防	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.02	<0.01 0.02	
		日植防 茨城	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.05	<0.01 0.05	
		日植防 高知	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.05	<0.01 0.05	
					—			(株)日曹分析センター (No. 98) ³⁾	
きゅうり (施設) (果実) H27 HPLC法 【GLP】	水和剤(40%) 2000倍 7回散布 167 L/10a(石川) 267 L/10a(福井) 159~267 L/10a(茨城) 160~280 L/10a(高知)	石川植防	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.03	<0.01 0.03	
		福井植防	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.01	<0.01 0.01	
		日植防 茨城	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.06	<0.01 0.06	
		日植防 高知	0 7	— 1	/	/	<0.01 0.07	<0.01 0.06	
					日本食品分析センター (*No. 30 公) ¹⁾		大日本イキ (*No. 30 社) ¹⁾		
かぼちゃ (露地) (果実) H7 ガスクロ法 HPLC法	水和剤(40%) 1000倍 5回散布 184~250L/10a(茨城) 300L/10a(高知)	日植防	0 5	- 7	<0.003 0.011	<0.003 0.011	<0.003 0.021	<0.003 0.019	
		茨城	5 5	14 21	0.013 0.013	0.013 0.011	0.019 0.013	0.019 0.013	
		日植防	0 5	- 7	<0.003 0.024	<0.003 0.024	<0.003 0.053	<0.003 0.053	
		高知	5 5	14 21	0.013 0.005	0.011 0.005	0.021 0.013	0.021 0.013	

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

3) 2016年10月25日提出

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
						(株)日曹分析センター (No. 91) ³⁾		
かぼちゃ (施設) (果実) H27 HPLC 法	フロアブル(30%) 1000倍 4回散布 245~262L/10a(NFS) 221~228L/10a(AAR) 208~236L/10a(STS)	(株)ニッソー フィールド サービス	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			4	7			0.04	0.04
			4	14			0.02	0.02
			4	21			0.04	0.04
		4	28	0.05	0.05			
		油日アグロ サーチ(株)	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			4	7			0.03	0.03
			4	14			0.03	0.03
			4	21			0.03	0.03
		4	28	0.03	0.03			
		住化テクノ サービス(株)	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			4	7			0.08	0.08
4	14		0.10	0.10				
4	21		0.11	0.11				
4	28	0.06	0.06					
						(株)日曹分析センター (*No. FL39 社)		
しろうり (露地) (果実) H17 HPLC 法	フロアブル(30%) 1500倍 5回散布 250L/10a(岐阜) 150-210L/10a(宮崎) 5回散布	岐阜植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			5	1			<0.02	<0.02
			5	3			<0.02	<0.02
			5	14			<0.02	<0.02
		日植防 宮崎	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			5	1			0.09	0.08
			5	3			0.06	0.06
			5	14			0.06	0.06
					日本食品分析センター (*No. 11 公) ²⁾	大日本イキ (*No. 11 社) ¹⁾		
すいか (施設) (果肉) S63 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 500倍 350L/10a 4回散布	長野植防 南信	0	-	/	/	<0.007	<0.007
			4	1			<0.007	<0.007
			4	3			<0.007	<0.007
		日植防 高知	0	-	/	/	<0.007	<0.007
			4	1			0.040	0.040
			4	3			0.013	0.013
					日本植防協会研究所 (No. FL17 公)	大日本イキ (*No. FL17 社)		
すいか (施設) (果肉) H14 HPLC 法	フロアブル(30%) 1000倍 4回散布 350L/10a(石川) 200L/10a(高知)	石川植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			4	1			<0.01	<0.01
			4	3			<0.01	<0.01
			4	7			<0.01	<0.01
		日植防 高知	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			4	1			<0.01	<0.01
			4	3			<0.01	<0.01
			4	7			<0.01	<0.01

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

3) 2016年3月31日提出

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジンベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No. 31 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 31 社) ¹⁾		
メロン (施設) (果肉) H7 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000倍 250L/10a 5回散布	石川植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			5	1	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			5	7	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			5	14	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
		熊本農研 センター	0	-	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			5	1	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			5	7	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
			5	14	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
					-	(株)日曹分析センター (*No. FL37 社)		
とうがん (露地) (果実) H17 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 1500倍 250L/10a 5回散布	神奈川 農技センター 三浦	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			5	1	/	/	0.02	0.02
			5	3	/	/	<0.02	<0.02
			5	14	/	/	<0.02	<0.02
		沖縄農試 宮古	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			5	1	/	/	<0.02	<0.02
			5	3	/	/	<0.02	<0.02
			5	14	/	/	<0.02	<0.02
					-	(株)日曹分析センター (*No. FL35 社)		
にがうり (施設) (果実) H19 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 4000倍 300L/10a 3回散布	宮崎病害 虫防除肥 料検査セ 都城	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			3	1	/	/	0.15	0.14
			3	3	/	/	0.13	0.12
			3	7	/	/	0.14	0.14
		宮崎病害 虫防除肥 料検査セ 宮崎	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			3	1	/	/	0.15	0.15
			3	3	/	/	0.10	0.10
			3	7	/	/	0.08	0.08
					日本食品分析センター (*No. 7 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 7 社) ¹⁾		
温州みかん (施設) (果肉) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000倍 3回散布 400L/10a(静岡) 500L/10a(長崎)	静岡柑試	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			3	7	0.040	0.037	<0.02	<0.02
			3	14	0.056	0.053	<0.02	<0.02
			0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
		長崎果試	3	7	0.043	0.040	<0.02	<0.02
			3	14	0.043	0.043	<0.02	<0.02

1) 申請者計算(換算係数0.266を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数0.66を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)												
					公的分析機関		社内分析機関										
					イミノクタジン												
					最高値	平均値	最高値	平均値									
					大日本イネ (*No. 35 社) ¹⁾												
温州みかん (施設) (果肉) H5 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 400L/10a 3 回散布	静岡柑試	0	-	/	/	/	/	/								
			3	7						/	/	/	/				
			3	14										/	/	/	/
		0	-	/	/	/	/										
		3	7					/	/	/	/						
		3	14									/	/	/	/		
		日本食品分析センター (*No. FL4 公) ¹⁾		大日本イネ (*No. FL4 社) ¹⁾													
温州みかん (施設) (果肉) H8 ガスクロ法 HPLC 法	フロアブル(30%) 1000 倍 400L/10a (大分のみ 1500L/10a) 3 回散布	高知農技 センター 果試	0	-	/	/	/	/	/								
			3	1						/	/	/	/				
			3	7										/	/	/	/
			3	14													
		0	-	/	/	/	/										
		3	1					/	/	/	/						
		3	7									/	/	/	/		
		3	14													/	/
				日本食品分析センター (*No. FL9-4 公)		大日本イネ (*No. FL9-4 社)											
		静岡柑試	0	-	/	/	/	/	/	/							
			3	3							/	/	/	/	/		
			3	7												/	/
3	14		/	/													
0	-	/			/	/	/										
3	3							/	/	/	/						
3	7											/	/	/	/		
3	14		/	/												/	/
		日本食品分析センター (*No. FL9-4 公)			大日本イネ (*No. FL9-4 社)												
愛媛果試	0	-			/	/	/	/	/	/							
	3	3									/	/	/	/	/		
	3	7	/	/												/	/
	3	14															

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No. 46-2 公)	(株)化学分析コンサルタント (*No. 46-2 社)		
温州みかん (施設) (果肉) H12 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 650L/10a(静岡) 400L/10a(長崎) 3 回散布	静岡柑試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	1	0.03	0.03	0.04	0.04
			3	3	<0.02	<0.02	0.02	0.02
			3	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		長崎果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	1	0.02	0.02	0.03	0.03
			3	3	<0.02	<0.02	0.03	0.03
			3	7	0.03	0.03	0.04	0.04
					日本食品分析センター (*No. FL14 公)	大日本イネ (*No. FL14 社)		
温州みかん (施設) (果肉) H13 HPLC 法	7077 剤(30%) 1000 倍 400L/10a 3 回散布	日植防 高知	0	-	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
			3	1	0.02	0.02	0.02	0.02
			3	3	0.04	0.04	<0.01	<0.01
			3	7	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
		日植防 宮崎	0	-	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
			3	1	0.05	0.05	<0.01	<0.01
			3	3	0.07	0.07	<0.01	<0.01
			3	7	0.05	0.05	<0.01	<0.01
		徳島農水 総技センター 果試	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	1	/	/	0.03	0.03
			3	3	/	/	0.03	0.03
			3	7	/	/	0.03	0.03
		佐賀果試	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	1	/	/	<0.01	<0.01
			3	3	/	/	<0.01	<0.01
			3	7	/	/	<0.01	<0.01
					日本食品分析センター (*No. 8 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 8 社) ¹⁾		
温州みかん (施設) (果皮) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 3 回散布 400L/10a(静岡) 500L/10a(長崎)	静岡柑試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03
			3	7	1.45	1.43	1.36	1.36
			3	14	1.22	1.18	1.14	1.11
		長崎果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03
			3	7	2.15	2.14	1.79	1.73
			3	14	2.43	2.31	1.17	1.08
					-	大日本イネ (*No. 35 社) ¹⁾		
温州みかん (施設) (果皮) H5 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 400L/10a 3 回散布	静岡柑試	0	-	/	/	<0.06	<0.06
			3	7	/	/	2.15	2.10
			3	14	/	/	1.87	1.76
		愛知 農総試 蒲郡	0	-	/	/	<0.06	<0.06
			3	7	/	/	1.44	1.40
			3	14	/	/	1.61	1.60

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No. FL4 公)	大日本イネ (*No. FL4 社)		
温州みかん (施設) (果皮) H8 ガスクロ法 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 1000 倍 400L/10a (大分のみ 1500L/10a) 3 回散布	高知農技 センター 果試	0	-	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05
			3	1	1.38	1.32	2.25	2.24
			3	7	1.62	1.62	2.10	2.05
			3	14	1.54	1.52	1.92	1.92
		大分柑試	0	-	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05
			3	1	2.04	2.02	2.33	2.30
			3	7	1.67	1.66	2.15	2.14
			3	14	1.74	1.68	1.86	1.86
		愛知 農総試 蒲郡	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			3	1	/	/	2.61	2.58
			3	7	/	/	2.47	2.45
			3	14	/	/	2.01	1.98
		佐賀果試	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			3	1	/	/	3.38	3.35
			3	7	/	/	3.00	2.98
			3	14	/	/	2.26	2.24
					日本食品分析センター (*No. FL9-4 公)	大日本イネ (*No. FL9-4 社)		
温州みかん (露地) (果皮) H10 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 10 倍 5L/10a 3 回無人ヘリ散布	静岡柑試	0	-	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02
			3	3	1.18	1.17	1.14	1.14
			3	7	0.87	0.86	0.86	0.85
			3	14	0.96	0.94	0.97	0.95
		愛媛果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	3	0.42	0.41	0.35	0.34
			3	7	0.35	0.34	0.33	0.32
			3	14	0.48	0.47	0.47	0.46
					日本食品分析センター (*No. 47 公)	(株)化学分析コンサルタント (*No. 47 社)		
温州みかん (施設) (果皮) H12 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 650L/10a(静岡) 400L/10a(長崎) 3 回散布	静岡柑試	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			3	1	1.72	1.65	3.60	3.49
			3	3	1.93	1.84	3.69	3.54
			3	7	1.57	1.50	3.23	3.20
		長崎果試	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			3	1	1.02	1.02	2.37	2.26
			3	3	1.11	1.06	1.78	1.74
			3	7	0.80	0.76	2.16	2.12

- 1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)
- 2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジンアルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No. FL15 公)	大日本イネ (*No. FL15 社)		
温州みかん (施設) (果皮) H13 HPLC 法	7077 ¹ M(30%) 1000 倍 400L/10a 3 回散布	日植防 高知	0	-	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02
			3	1	0.47	0.46	0.91	0.91
			3	3	0.45	0.44	0.79	0.78
		日植防 宮崎	0	-	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02
			3	1	0.82	0.81	1.95	1.94
			3	3	1.00	0.98	1.77	1.71
		徳島農水 総技センター 果試	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			3	1	/	/	3.47	3.44
			3	3	/	/	3.34	3.28
		佐賀果試	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			3	1	/	/	3.16	3.12
			3	3	/	/	2.73	2.64
					日本食品分析センター (*No. 9 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 9 社) ¹⁾		
なつみかん (露地) (果肉) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 500L/10a 3 回散布	徳島植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			3	7	0.008	0.005	<0.02	<0.02
			3	14	0.005	0.005	<0.02	<0.02
		鹿児島 果試	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			3	7	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			3	14	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
					日本食品分析センター (*No. 10 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 10 社) ¹⁾		
なつみかん (露地) (果皮) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 500L/10a 3 回散布	徳島植防	0	-	<0.006	<0.006	<0.03	<0.03
			3	7	1.12	1.07	1.16	1.15
			3	14	1.03	1.03	0.96	0.90
		鹿児島 果試	0	-	<0.006	<0.006	<0.03	<0.03
			3	7	0.120	0.117	0.16	0.15
			3	14	0.117	0.114	0.09	0.08

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本食品分析センター (*No.FL12[FL27]公)		大日本イキ (*No.FL12[FL27]社)	
なつみかん (露地) (果実全体) H14 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 1000 倍 2 回散布 600L/10a(大分) 816L/10a(山口) 400L/10a(鹿児島,徳島)	大分 肥料植防	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			2	1	0.16	0.16	0.19	0.19
			2	3	0.15	0.14	0.20	0.20
			2	7	0.09	0.08	0.13	0.12
		鹿児島 植防	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			2	1	0.08	0.08	0.09	0.08
			2	3	0.08	0.08	0.08	0.08
		山口 萩柑試	2	7	0.08	0.08	0.09	0.08
			0	-	/	/	<0.05	<0.05
			2	1	/	/	0.42	0.41
			2	3	/	/	0.25	0.24
		徳島植防	2	7	/	/	0.19	0.19
			0	-	/	/	<0.05	<0.05
			2	1	/	/	0.23	0.23
			2	3	/	/	0.17	0.17
								0.12
					-	大日本イキ (*No. 40 社)		
小粒柑橘 (露地) (果実全体) H9 HPLC 法	水和剤(40%) 2000 倍 400L/10a 2 回散布	埼玉植防 (ゆず)	0	-	/	/	<0.003	<0.003
			2	7	/	/	0.104	0.102
			2	14	/	/	0.064	0.062
		徳島植防 (すだち)	0	-	/	/	<0.003	<0.003
			2	7	/	/	0.088	0.086
			2	14	/	/	0.061	0.058

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)							
					公的分析機関		社内分析機関					
					イミノクタジン							
					最高値	平均値	最高値	平均値				
						大日本イキ (*No.FL13[FL28]社)						
小粒柑橘 (露地) (果実全体) H13 HPLC 法	7077 ^g /L(30%) 1000 倍 400L/10(徳島) 640L/10a(大分) 900L/10a(和歌山) 500L/10a(高知) 2 回散布	徳島植防 (すだち)	0	-	/	/	/	/	/			
			2	1						<0.05	<0.05	
			2	3						0.56	0.56	
			2	7						0.32	0.31	
		大分 肥料植防 (かぼす)	0	-	/	/	/	/	/	/		
			2	1							<0.05	<0.05
			2	3							0.10	0.10
			2	7							0.06	0.06
		和歌山 植防 (ゆず)	0	-	/	/	/	/	/	/		
			2	1							<0.05	<0.05
			2	3							0.58	0.57
			2	7							0.57	0.57
高知 植防 (ゆず)	0	-	/	/	/	/	/	/				
	2	1							0.34	0.34		
	2	3							<0.05	<0.05		
	2	7							0.06	0.06		
					(財)日本食品分析センター (*No. 3 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 3 社) ¹⁾						
なし (露地) (果実) S60 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 5 回散布 350L/10a(千葉) 500L/10a(鳥取)	千葉農試	0	-	<0.007	<0.007	0.02	0.02				
			5	14	0.046	0.046	0.11	0.10				
			5	28	0.013	0.013	0.03	0.03				
			5	45	0.007	0.007	0.03	0.02				
		鳥取果試	0	-	<0.007	<0.007	<0.02	<0.02				
			5	14	0.120	0.120	0.11	0.10				
			5	28	0.080	0.080	0.09	0.07				
			5	45	0.027	0.027	0.03	0.03				
					(財)日本食品分析センター (*No. FL10 公)	-						
日本なし (露地) (果実) H10 HPLC 法	7077 ^g /L(30%) 1500 倍 500L/10a 5 回散布	埼玉植防	0	-	0.013	0.013	/	/				
			5	7	0.180	0.174						
			5	14	0.144	0.140						
			5	21	0.097	0.096						
		福井植防	0	-	<0.005	<0.005	/	/				
			5	7	0.266	0.255						
			5	14	0.282	0.276						
			5	21	0.203	0.195						

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所 (*No. FL10 公)	大日本イキ (*No. FL10 社)		
日本なし (露地) (果実) H13 HPLC 法	7077 ^g L(30%) 1500 倍 5 回散布 500L/10a(福島) 400L/10a(秋田)	秋田植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	7	0.21	0.20	0.28	0.26
			5	14	0.19	0.18	0.21	0.20
			5	21	0.15	0.14	0.19	0.18
		福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	7	0.21	0.21	0.21	0.20
5	14		0.15	0.15	0.21	0.20		
							0.15	0.15
					-	大日本イキ (*No. FL10 社)		
日本なし (露地) (果実) H13 HPLC 法	7077 ^g L(30%) 1500 倍 500L/10a 5 回散布	長野植防 南信	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			5	7	/	/	0.29	0.28
			5	14	/	/	0.27	0.26
			5	21	/	/	0.14	0.14
		鳥取園試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	7	0.29	0.28	0.29	0.28
			5	14	0.22	0.22	0.22	0.22
			5	21	0.12	0.12	0.12	0.12
					(財)日本食品分析センター (*No. 26 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 26 社) ¹⁾		
びわ (千葉:露地 長崎:施設) (果肉) H7 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 3 回散布 300L/10a(千葉) 400L/10a(長崎)	千葉 暖地園試	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			3	7	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			3	13	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
		長崎果試	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			3	7	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			3	14	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
					(財)日本食品分析センター (*No. 27 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 27 社) ¹⁾		
びわ (千葉:露地 長崎:施設) (果皮) H7 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 3 回散布 300L/10a(千葉) 400L/10a(長崎)	千葉 暖地園試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	13	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		長崎果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	7	0.02	0.02	0.10	0.10
			3	14	0.09	0.09	0.09	0.09

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		社内分析機関			
					イミノクタジン					
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					(財)日本食品分析センター (*No. 5 公)	大日本イキ (*No. 5 社) ¹⁾				
もも (露地) (果肉) S61 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000倍 500L/10a 3回散布	福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02		
			3	1	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
			3	7	<0.01	<0.01	0.03	0.02		
		長野植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02		
			3	1	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
			3	7	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
					(財)日本食品分析センター (*No. FL3 公)	大日本イキ (*No. FL3 社)				
もも (露地) (果肉) H9 ガスクロ法 HPLC 法	7077 ¹⁾ (30%) 1000倍 500L/10a 3回散布	福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.003	<0.003		
			3	1	<0.01	<0.01	0.019	0.019		
			3	3	0.02	0.02	0.019	0.018		
			3	7	0.03	0.03	0.024	0.022		
		徳島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.003	<0.003		
			3	1	<0.01	<0.01	0.016	0.014		
			3	3	<0.01	<0.01	0.013	0.010		
			3	7	<0.01	<0.01	0.011	0.011		
								(財)日本食品分析センター (*No. 5 公) ²⁾	大日本イキ (*No. 5 社) ¹⁾	
			もも (露地) (果皮) S61 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000倍 500L/10a 3回散布	福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.06
3	1	2.68				2.61	3.17	3.17		
3	7	1.91				1.90	3.25	3.14		
長野植防	0	-			<0.01	<0.01	<0.06	<0.06		
	3	1			2.40	2.36	3.86	3.83		
	3	7			1.64	1.58	4.52	4.50		
					(財)日本食品分析センター (*No. FL3 公)	大日本イキ (*No. FL3 社)				
もも (露地) (果皮) H9 ガスクロ法 HPLC 法	7077 ¹⁾ (30%) 1000倍 500L/10a 3回散布	福島植防	0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05		
			3	1	3.77	3.66	4.93	4.82		
			3	3	3.51	3.44	3.71	3.50		
			3	7	4.39	4.29	3.49	3.26		
		徳島植防	0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05		
			3	1	2.45	2.45	1.83	1.78		
			3	3	1.40	1.38	0.81	0.79		
			3	7	1.52	1.52	0.51	0.48		

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					日本植防協会研究所 (*No. FL23 公)	(株)エスコ (*No. FL23 社)		
ネクタリン (露地) (果実全体) H15 HPLC 法	7077 ^g /L(30%) 2000 倍 2 回散布 400L/10a(福島植防,群馬) 15L/樹(福島果試) 270L/10a(青森)	福島植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05
			2	1	0.10	0.10	0.06	0.06
			2	7	0.05	0.04	0.06	0.06
			2	21	0.04	0.04	0.06	0.06
		群馬植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05
			2	1	0.07	0.07	0.10	0.10
			2	7	0.05	0.05	0.05	0.05
			2	21	0.02	0.02	<0.05	<0.05
		福島果試	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			2	1	/	/	0.11	0.10
			2	7	/	/	0.09	0.09
			2	21	/	/	0.06	0.07
		青森植防	0	-	/	/	<0.05	<0.05
			2	1	/	/	0.13	0.12
			2	7	/	/	0.13	0.12
			2	21	/	/	0.07	0.06
					日本植防協会研究所 (*No. FL32 公)	(株)エスコ (*No. FL32 社)		
ネクタリン (露地) (果実全体) H16 LC/MS HPLC 法	7077 ^g /L(30%) 1500 倍 400L/10a 2 回散布	青森植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			2	1	0.12	0.12	0.13	0.12
			2	7	0.10	0.10	0.10	0.10
			2	21	0.06	0.06	0.05	0.05
		福島植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			2	1	0.13	0.13	0.09	0.09
			2	7	0.10	0.10	0.06	0.06
			2	21	0.05	0.05	0.04	0.04
		群馬植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			2	1	/	/	0.11	0.11
			2	7	/	/	0.07	0.07
			2	21	/	/	0.07	0.07
		新潟園研 センター	0	-	/	/	<0.02	<0.02
			2	1	/	/	0.12	0.12
			2	7	/	/	0.08	0.08
			2	21	/	/	0.03	0.03

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					イミノクタジン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)日本食品分析センター (*No. 42 公)	大日本イキ (*No. 42 社)			
すもも (露地) (果実) H8 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 500L/10a 3 回散布	長野植防	0	-	0.004	0.004	0.008	0.006	
			3	3	0.273	0.273	0.213	0.210	
			3	7	0.166	0.163	0.117	0.116	
			3	14	0.081	0.077	0.083	0.080	
		和歌山 果園試	0	-	<0.003	<0.003	0.003	0.003	
			3	3	0.198	0.190	0.248	0.242	
			3	7	0.105	0.101	0.115	0.112	
			3	14	0.042	0.040	0.056	0.054	
					-	大日本イキ (*No. 52 社)			
すもも (露地) (果実) H19 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 400L/10a 3 回散布	和歌山 植防	0	-	/	/	<0.02	<0.02	
			3	3	/	/	0.14	0.14	
			3	7	/	/	0.13	0.12	
			3	14	/	/	0.07	0.06	
		日植防 山梨	0	-	/	/	<0.02	<0.02	
			3	3	/	/	0.19	0.18	
			3	7	/	/	0.12	0.12	
			3	14	/	/	0.08	0.08	
		福島植防	0	-	/	/	<0.04	<0.04	
			3	3	/	/	0.13	0.12	
			3	7	/	/	0.12	0.10	
			3	14	/	/	0.07	0.06	
					(財)日本食品分析センター (*No. FL24 公)	大日本イキ (*No. FL24 社)			
すもも (露地) (果実) H14 HPLC 法	7077 [®] N(30%) 2000 倍 3 回散布 400L/10a(長野) 500L/10a(和歌山)	長野植防 須坂	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	3	0.04	0.04	0.03	0.03	
			3	7	0.04	0.04	0.03	0.03	
			3	14	0.05	0.04	0.03	0.03	
		和歌山 植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	3	0.04	0.04	0.04	0.04	
			3	7	0.06	0.06	0.04	0.04	
			3	14	0.03	0.03	0.03	0.03	
					(財)日本食品分析センター (*No. 28 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 28 社) ¹⁾			
うめ (露地) (果実) H7 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 2000 倍 250L/10a 3 回散布	群馬植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006	
			3	30	0.021	0.021	0.048	0.045	
			3	45	0.016	0.016	0.037	0.037	
			3	60	0.005	0.005	<0.006	<0.006	
			徳島植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006
				3	30	0.048	0.045	0.104	0.096
		3		45	0.013	0.013	0.019	0.019	
		3		60	<0.003	<0.003	<0.006	<0.006	

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. FL29 公)	大日本イキ (*No. FL29 社)		
うめ (露地) (果実) H16 HPLC 法	フロアブル(30%) 2000倍 3回散布 250L/10a(群馬) 200L/10a(和歌山)	群馬植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	7	0.08	0.07	0.08	0.08
			3	14	0.05	0.08	0.05	0.04
		和歌山 植防	3	28	0.04	0.04	0.04	0.03
			0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	7	0.10	0.10	0.10	0.10
3	14	0.07	0.06	0.06	0.06			
3	27	0.06	0.06	0.06	0.06			
					-	(株)日曹分析センター (No. 100) ³⁾		
うめ (露地) (果実) H29 HPLC 法 【GLP】	水和剤(30%) 2000倍 3回散布 333 L/10a(福島) 356 L/10a(和歌山)	福島植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	1	/	/	0.55	0.54
			3	3	/	/	0.45	0.44
			3	7	/	/	0.37	0.36
			3	14	/	/	0.23	0.23
			3	21	/	/	0.08	0.08
		和歌山 植防	3	28	/	/	0.05	0.05
			0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	1	/	/	0.66	0.66
			3	3	/	/	0.50	0.50
			3	7	/	/	0.45	0.44
			3	14	/	/	0.26	0.26
3	21	/	/	0.24	0.24			
3	28	/	/	0.22	0.22			
					(財)日本食品分析センター (*No. FL1 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. FL1 社) ¹⁾		
おうとう (施設) (果実) H8 ガスクロ法 HPLC 法	フロアブル(30%) 1000倍 500L/10a 3回散布	岩手植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.003	<0.003
			3	7	0.53	0.51	0.372	0.370
			3	14	0.23	0.23	0.250	0.250
		長野植防 須坂	3	21	0.15	0.15	0.141	0.138
			0	-	<0.02	<0.02	<0.003	<0.003
			3	7	0.71	0.68	0.423	0.418
3	13	0.63	0.60	0.779	0.755			
3	20	0.38	0.37	0.325	0.317			

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

3) 2018年2月28日提出

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. 46 公)	大日本イキ (*No. 46 社)		
おうとう (施設) (果実) H11 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 500L/10a 3 回散布	日植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.013	<0.013
			3	1	1.27	1.27	1.312	1.284
			3	3	0.94	0.91	0.962	0.937
		長野植防	3	7	0.67	0.67	0.660	0.648
			0	-	<0.01	<0.01	<0.013	<0.013
			3	1	0.38	0.37	0.407	0.401
			3	3	0.36	0.35	0.340	0.332
					(財)日本食品分析センター (*No. 23 公) ¹⁾	大日本イキ (*No. 23 社) ¹⁾		
いちご (施設) (果実) H6-7 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 5 回散布(定植前) 200L/10a(埼玉) 150L/10a(千葉)	埼玉植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	217	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		千葉農試 砂地 野菜研	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			5	126	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	水和剤(40%) 1000 倍 5 回散布(定植前) 200L/10a(埼玉) 150L/10a(千葉) 4000 倍 200L/10a 2 回散布 合計 7 回	埼玉植防	0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			7	1	0.136	0.133	0.128	0.128
			7	8	0.074	0.074	0.069	0.069
		千葉農試 砂地 野菜研	7	15	0.037	0.037	0.040	0.037
			0	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
			7	1	0.149	0.149	0.112	0.112
					日本植防協会研究所 (*No. FL30 公)	大日本イキ (*No. FL30 社)		
いちご (施設) (果実) H14 HPCL 法	フロアブル(30%) 750 倍 200L/10a 5 回散布(仮植前) 2000 倍 200L/10a 2 回散布 合計 7 回	三重植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02
			7	1	0.18	0.16	0.19	0.18
			7	7	0.10	0.10	0.12	0.12
		奈良植防	7	14	0.07	0.06	0.09	0.08
			0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02
			7	1	0.25	0.25	0.18	0.18
			7	7	0.20	0.20	0.14	0.14

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					イミノクタジン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
						(株)エスコ (*No. FL30 社)			
いちご (施設)(果実) H15 HPLC 法	7077 ^g /L(30%) 750 倍 150L/10a 5 回散布(仮植前) 2000 倍 150L/10a 2 回散布 合計 7 回	群馬植防	0	-			<0.03	<0.03	
			7	1			0.24	0.22	
			7	7			0.11	0.11	
			7	14			0.04	0.04	
いちご (施設) (果実) H16 HPLC 法	7077 ^g /L(30%) 750 倍 150L/10a 5 回散布(仮植前) 2000 倍 150L/10a 2 回散布 合計 7 回	三重植防	0	-			<0.03	<0.03	
			7	1			0.07	0.07	
			7	7			0.05	0.05	
			7	14			0.04	0.04	
		群馬植防	0	-			<0.03	<0.03	
			7	1			0.17	0.16	
			7	7			0.07	0.06	
			7	14			0.05	0.04	
						(株)日曹分析センター (No. 96) ³⁾			
いちご (施設) (果実) H27, 28 HPLC 法 【GLP】	7077 ^g /L(30%) 1000 倍 250 L/10a(SRJ) 225~231 L/10a(NFS) 246~252 L/10a(AAR) 5 回散布(育苗期) 2000 倍 200 L/10a(SRJ) 188~200 L/10a(NFS) 190~205 L/10a(AAR) 5 回散布(生育期) 合計 10 回	シンテック・ リサーチ・ ジヤパン(株)	0	-			<0.01	<0.01	
			10	1			0.05	0.04	
			10	3			0.04	0.04	
			10	7			0.02	0.02	
		(株)ニッソー フイールド サービス	0	-			<0.01	<0.01	
			10	1			0.05	0.05	
			10	3			0.04	0.04	
			10	7			0.03	0.03	
		油日アグロ リサーチ(株)	0	-			<0.01	<0.01	
			10	1			0.04	0.04	
			10	3			0.03	0.03	
			10	7			0.04	0.04	
					(財)日本食品分析センター (*No. 6 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 6 社) ¹⁾			
かき (露地) (果実) H1 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 250 倍 250L/10a 1 回散布	新潟園試	0	-	<0.003	<0.003	<0.007	<0.007	
			1	232	<0.003	<0.003	<0.007	<0.007	
		京都 山城園試	0	-	<0.003	<0.003	<0.007	<0.007	
			1	215	<0.003	<0.003	<0.007	<0.007	
		水和剤(40%) 250 倍 250L/10a 1 回散布 1000 倍 250L/10a 4 回散布(新潟) 3 回散布(京都) 合計 5,4 回	新潟園試	0	-	<0.003	<0.003	<0.007	<0.007
				5	14	0.013	0.011	0.045	0.043
	5			28	0.016	0.016	0.040	0.037	
	京都 山城園試		5	45	0.008	0.008	0.032	0.032	
		0	-	<0.003	<0.003	<0.007	<0.007		
	京都 山城園試	4	14	0.024	0.021	0.074	0.069		
		4	35	0.016	0.016	0.069	0.069		
				4	52	0.005	0.005	0.021	0.021

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

3) 2016 年 10 月 25 日提出

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. 4 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 4 社) ¹⁾		
キウイフルーツ (露地) (果肉) H4 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 300L/10a 5 回散布	静岡柑試	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			5	1	0.021	0.019	<0.02	<0.02
			5	7	0.008	0.005	<0.02	<0.02
		大分農技 センター	0	-	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02
			5	1	0.019	0.019	<0.02	<0.02
			5	7	0.013	0.011	<0.02	<0.02
					(財)日本食品分析センター (*No. 48 公)	大日本イネ (*No. 48 社)		
マンゴー (施設) (果実) H10 HPLC 法	水和剤(40%) 1000 倍 500L/10a 3 回散布	鹿児島 農試 大島	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	15	0.25	0.24	0.25	0.24
			3	44	0.19	0.18	0.20	0.20
			3	75	0.04	0.04	0.04	0.04
		沖縄農試 名護	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.36	0.34	0.20	0.20
			3	43	0.22	0.22	0.11	0.10
			3	75	0.02	0.02	0.02	0.02
					-	(株)化学分析コンサルタント (*No. 50 社)		
あけび (露地) (果実) H17 LC/MS 法	水和剤(40%) 3000 倍 2 回散布 500L/10a(宮城) 360L/10a(熊本)	宮城 農業・園芸 総研	0	-	/	/	<0.03	<0.03
			2	14	/	/	0.04	0.04
			2	22	/	/	0.04	0.04
			2	42	/	/	<0.03	<0.03
		熊本 農研センター 果樹研	0	-	/	/	<0.03	<0.03
			2	14	/	/	0.06	0.06
			2	21	/	/	<0.03	<0.03
			2	42	/	/	<0.03	<0.03
					岐阜県農業技術研究所 (*No. FL33 公)	-		
くり (露地) (果実) H17 ガスクロ法	7077 [®] N(30%) 1000 倍 300L/10a 2 回散布	岐阜 中津川	0	-	<0.007	<0.007	/	/
			2	14	<0.007	<0.007	/	/
			2	21	<0.007	<0.007	/	/
			2	28	<0.007	<0.007	/	/
		岐阜 恵那	0	-	<0.007	<0.007	/	/
			2	14	<0.007	<0.007	/	/
			2	20	<0.007	<0.007	/	/
			2	28	<0.007	<0.007	/	/

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

【参考資料2】イミノクタジナルベシル酸塩を処理した作物におけるイミノクタジンの残留分析結果(つづき)

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析法	剤型 (有効成分量) 希釈倍数又は 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					イミノクタジン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター (*No. 19 公) ¹⁾	大日本イネ (*No. 19 社) ¹⁾		
茶 (露地) (荒茶) H3 ガスクロ法 HPLC 法	水和剤(40%) 1000倍 200L/10a 2回散布	高知 農技術 センター	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03
			2	7	0.71	0.68	0.69	0.69
			2	14	0.23	0.22	0.18	0.17
			2	21	0.03	0.03	<0.03	<0.03
		鹿児島 茶試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03
			2	7	1.20	1.18	1.16	1.12
			2	14	0.48	0.46	0.37	0.36
			2	21	0.04	0.04	0.05	0.04
					(財)日本食品分析センター (*No. FL16 公)	大日本イネ (*No. FL16 社)		
茶 (露地) (荒茶) H14 HPLC 法	フロアブル(30%) 1500倍 200L/10a 2回散布	茨城 農総センター	0	-	<0.05	<0.05	<0.1	<0.1
			2	7	3.30	3.18	4.6	4.6
			2	14	0.99	0.96	1.6	1.6
			2	21	0.28	0.26	0.3	0.3
		高知 農技センター	0	-	<0.05	<0.05	<0.1	<0.1
			2	7	1.20	1.20	2.1	2.0
			2	14	0.44	0.44	0.7	0.7
			2	21	0.25	0.24	0.2	0.2

1) 申請者計算(換算係数 0.266 を乗じてイミノクタジンに換算)

2) 申請者計算(イミノクタジン酢酸塩として分析しているため、換算係数 0.66 を乗じてイミノクタジンに換算)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

2. 乳汁試験

(1) イミノクタジン三酢酸塩の大動物における残留試験

試験機関：

報告書作成年：1982年

検体の純度：

イミノクタジン三酢酸塩を 40.0%(w/w) 含有する水溶液

試験動物：

畜体内残留試験：ホルスタイン種、乳用雄子牛 3ヶ月齢。各投与群3頭。

乳汁移行試験：ホルスタイン種、泌乳用牛 1区2頭。

試験期間：

畜体内残留試験：投与14日間。投与終了後0日目、7日目および14日目に各投与群1頭を屠殺

乳汁移行試験：投与14日間。投与停止後14日間の休薬期間

投与方法：

ベフラン(有効成分40%水溶液)を飼料にイミノクタジン三酢酸塩として25もしくは50ppmになるように添加混合して調製した。その飼料を畜体内残留試験用の子牛には1日3kg、乳汁移行試験用の泌乳牛に8kg毎日給与した。

分析試料の採取：

畜体内残留試験：

14日間の投与終了後、0日、7日および14日目に各投与群1頭を屠殺解剖し、肝、腎、筋肉、脂肪および血液の5部位採取し、体内残留量を測定した。対照動物は投与終了後0日目に同様に処理した。

乳汁移行試験：

投与前、投与7日目、投与14日目、投与停止7日目および投与停止14日目の計5回、供試動物全頭より採取した。採取した乳汁は、個体別にそれぞれ午前と午後の分を泌乳量の割合で混合して、1分析試料とした。

分析方法：

試料に塩酸グアニジンを添加し、
で抽出、
に転溶後、
で洗浄し、
した。これを、

液々分配およびアルミナカラムクロマトグラフィーによって精製し、ECD検出器付ガスクロマトグラフィーにより分析定量した。

検出限界：0.05ppm

試験結果：

筋肉、脂肪では、各用量群共に全ての採取試料において検出限界以下であった。血液では、投与終了後0日目および7日目の試料において各用量群ともに検出限界付近の濃度が観察されたが、14日目では検出限界以下となった。肝では高用量群で、検出限界付近の値が各試料に観察された。腎では、採取時間の経過と共に残留濃度の増加が観察された。乳汁に関して、全ての試料において検出限界以下であり、乳汁への移行はないと考えられる。また、試験期間において、体重変化および飼料摂取量、泌乳量に投与による影響および異常は見られなかった。

各組織および乳汁の分析結果を以下に示す。

1. 畜体内残留試験			対照区		低用量区		高用量区		
検体の純度 40%水溶液	投与量	ppm	0		25		50		
		mg/kg/日	0		0.554		1.172		
畜体内残留量(ppm)	筋肉	投与終了後日数	0	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			7	—	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			14	—	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	脂肪		0	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			7	—	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			14	—	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	肝		0	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.09	0.09
			7	—	—	<0.05	<0.05	0.06	0.08
			14	—	—	0.05	0.07	0.09	0.12
	腎		0	<0.05	<0.05	0.25	0.27	0.86	0.90
			7	—	—	0.18	0.22	1.10	1.28
			14	—	—	0.68	0.73	1.37	1.57
血液	0	<0.05	<0.05	0.05	0.07	0.05	0.05		
	7	—	—	0.06	0.08	0.06	0.08		
	14	—	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05		
体重変化			異常なし		異常なし		異常なし		
飼料摂取量			異常なし		異常なし		異常なし		

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

2. 乳汁への移行試験			対照区		低用量区		高用量区	
検体の純度 40%水溶液	投与量	ppm	0		25		50	
		mg/kg/日	0		0.252		0.603	
乳汁への移行(ppm)	投与前	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	投与7日目	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	休薬後0日	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	休薬後7日	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	休薬後14日	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
体重変化			異常なし		異常なし		異常なし	
飼料摂取量			異常なし		異常なし		異常なし	

3. 土壌残留

(1) 分析法の原理と操作概要

①ガスクロマトグラフ法

(塩酸グアニジン含有)で抽出、

してガス

クロマトグラフ(ECD 又は N-P FID)を用いて分析する。

②高速液体クロマトグラフィー法

塩酸グアニジン含有)で抽出、

として用いる高速液

体クロマトグラフ(ケイ光検出器付き)を用いて分析する。

*なお、容器内試験(水田、畑地共)は塩酸グアニジンを添加せずに抽出。

(2) 分析対象の化合物

・親化合物(イミノクタジン酢酸塩として添加；分析対象はイミノクタジン)：

1-1'-イミノオジ(オクタメチレン)ジグアニジニウム=トリアセタート

分子式： $C_{24}H_{53}N_7O_6$ 分子量：535.7

(3) 残留試験結果

① 容器内試験(水田土壌)

推定半減期： 火山灰 壤土 約 145 日
 沖積 壤土 約 92 日

分析機関：大日本インキ化学工業(株)

試料調製及び 採取場所 年度	被験物質の 処理方法 濃度・保存温度	経過 日数	測定値(mg/kg)	
			親化合物	
			最高値	平均値
新潟県 農業試験場 沖積壤土 昭和 52 年度	無処理	—	0.05	0.05
	標準品 乾土 20 g 当り 有効成分 10 µg 添加 (5ppm 相当) 1 回処理 27°C(暗所)	0	4.95	4.61
		7	4.58	4.23
		14	3.68	3.59
		28	3.62	3.39
		56	2.97	2.72
		96	2.70	2.16
		145	1.75	1.53
180	1.40	1.36		
千葉県農業試験場 火山灰 壤土 昭和 52 年度	無処理	—	<0.05	<0.05
	標準品 乾土 20 g 当り 有効成分 100 µg 添加 (5ppm 相当) 1 回処理 27°C(暗所)	0	3.62	3.50
		7	3.41	3.32
		14	3.43	3.37
		28	3.31	3.29
		56	2.82	2.73
		96	2.43	2.35
		145	1.93	1.81
180	1.57	1.55		

② 容器内試験(畑地土壌)

推定半減期： 火山灰 壤土 約 122 日
 洪積 砂壤土 約 90 日

分析機関：大日本インキ化学工業(株)

試料調製及び 採取場所 年度	被験物質の 処理方法 濃度・保存温度	経過 日数	測定値(mg/kg)	
			親化合物	
			最高値	平均値
千葉県農業試験場 火山灰 壤土 昭和 52 年度	無処理	—	<0.05	<0.05
	標準品 乾土 20 g 当り 有効成分 100 µg 添加 (5ppm 相当) 1 回処理 27°C(暗所)	0	3.55	3.48
		7	3.21	3.18
		14	3.59	3.36
		28	3.28	3.19
		56	2.99	2.91
		96	2.30	2.20
		143	1.70	1.63
		180	1.48	1.40
愛媛県果樹試験場 洪積砂壤土 昭和 52 年度	無処理	—	<0.05	<0.05
	標準品 乾土 20 g 当り 有効成分 100 µg 添加 (5ppm 相当) 1 回処理 27°C(暗所)	0	3.17	3.00
		7	3.08	2.98
		14	2.45	2.42
		28	2.26	2.26
		56	1.95	1.90
		96	1.49	1.33
		143	1.20	1.10
		180	1.20	1.08

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある

③ 圃場試験（水田）

推定半減期： 火山灰 壤土 約 100 日
 沖積 埴壤土 約 60 日

分析機関：大日本インキ化学工業(株)

試料調製及び 採取場所 年度	被験物質の 処理方法 濃度・保存温度	経過 日数	測定値(mg/kg)	
			親化合物	
			最高値	平均値
埼玉県農業 試験場 沖積埴壤土 昭和 57 年度	無処理	—	<0.05	<0.05
	液剤(25%) 500 倍希釈 180L/10a 4 回散布	0	0.55	0.45
		9	1.21	1.20
		20	1.18	1.00
		42	0.18	0.17
		59	0.43	0.40
		80	0.92	0.90
		121	0.46	0.45
181	0.86	0.76		
千葉県農業 試験場 火山灰 壤土 昭和 57 年度	無処理	—	<0.05	<0.05
	液剤(25%) 500 倍希釈 180L/10a 4 回散布	0	0.78	0.72
		10	0.91	0.83
		20	1.75	1.74
		40	0.88	0.84
		60	0.56	0.55
		79	1.08	1.06
		121	0.22	0.22
192	0.20	0.20		

④ 圃場試験(畑地)

推定半減期： 崩積 埴壤土 約 75 日
火山灰 壤土 約 28 日

分析機関：(財)残留農業研究所

試料調製及び 採取場所 年度	被験物質の 処理方法 濃度・保存温度	経過 日数	測定値(mg/kg)	
			親化合物	
			最高値	平均値
北海道中央 農業試験場 崩積埴壤土 昭和 54 年度	無処理	—	<0.04	<0.04
	液剤(25%)	0	1.38	1.22
	500 倍希釈 350L/10a	7	1.41	1.36
	2 回散布	14	1.87	1.74
	1000 倍希釈 1000L/10a	28	1.25	1.15
	8 回処理	56	2.30	2.24
	塗布剤(3%) 原液 1 回塗布	95 242	0.42 0.93	0.40 0.84
青森県畑作 園芸試験場 火山灰 壤土 昭和 56 年度	無処理	—	<0.04	<0.04
	液剤(25%)	0	1.24	1.11
	500 倍希釈 30L/樹	14	1.05	1.00
	2 回散布	29	0.39	0.38
	1000 倍希釈 30L/樹	56	0.15	0.14
	8 回処理	94	0.20	0.16
	塗布剤(3%) 原液 1 回塗布	134 180	0.37 0.47	0.34 0.35

4. 後作物残留試験

試料調製及び採取場所 年度	前作物名 被験物質の 処理方法 濃度	後作物名	経過 日数	測定値(mg/kg)	
				最大値	平均値
社団法人群馬県 植物防疫協会 壤土 平成 15 ～16 年度	無処理	小麦	—	<0.01	<0.01
	水稻 粉剤(1.5%) 4kg/10a 3 回散布		254	<0.01	<0.01
日本植物防疫協会研 究所 (高知) 埴壤土 平成 15 ～16 年度	無処理	にんじん	—	<0.01	<0.01
	水稻 粉剤(1.5%) 4kg/10a 3 回散布		210	<0.01	<0.01
日本植物防疫協会 研究所 軽埴土 平成 15 ～16 年度	無処理	きゅうり	—	<0.03	<0.03
	小麦 液剤(25%) 原液 5mL/乾燥種子 kg 7077 [®] (15%) 500 倍 150L/10a 2 回散布		63	<0.03	<0.03
	液剤(25%) 1000 倍 150L/10a 2 回 散布	にんじん	—	<0.01	<0.01
	小麦 液剤(25%) 原液 5mL/乾燥種子 kg 7077 [®] (15%) 500 倍 150L/10a 2 回散布		162	<0.01	<0.01
液剤(25%) 1000 倍 150L/10a 2 回 散布					

5. 水質汚濁性

(1) 分析法の原理と操作概要

塩酸グアニジン

で抽出する。

する。その後、シリカゲルカ

ラムクロマトグラフィーで精製し、ガスクロマトグラフィー(NPD)で定量する。

(2) 分析対象の化合物

・イミノクタジン酢酸塩：

1-1'-イミノオジ(オクタメチレン)ジグアニジニウム=トリアセタート

分子式：C₂₄H₅₃N₇O₆ 分子量：535.7

(3) 残留分析結果

試料調製及び 採取場所 年度	被験物質の 処理方法 濃度・保存温度	経過 日数	測定値(mg/L)	
			親化合物	
			最高値	平均値
福島県農業試験場 灰色低地土 平成6年度	無処理	—	<0.0001	<0.0001
	粉剤(1.5%)	0	0.0516	0.0510
	4kg/10a	1	0.0010	0.0010
	(有効成分)	3	0.0003	0.0002
	(60g/10a)	7	<0.0001	<0.0001
	1回散布	14	<0.0001	<0.0001
福島県農業試験場 多湿黒ぼく土 平成6年度	無処理	—	<0.0001	<0.0001
	粉剤(1.5%)	0	0.0512	0.0495
	4kg/10a	1	0.0012	0.0011
	(有効成分)	3	0.0004	0.0004
	(60g/10a)	7	0.0002	0.0002
	1回散布	14	0.0001	0.0001